

**令和5年度  
教育行政の執行状況に関する  
点検評価報告書  
(令和4年度対象)**

**蓮田市教育委員会**

# 目 次

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 1 はじめに                              | 1  |
| 2 点検評価の基本方針                         | 1  |
| 3 学識経験者の知見の活用                       | 1  |
| 4 達成度及び教育委員会評価の判断基準                 | 1  |
| 5 蓮田市教育大綱                           | 2  |
| 6 蓮田市教育行政重点施策                       | 4  |
| 7 点検評価の結果                           | 5  |
| ○地域の関係機関と連携した子育て支援                  | 5  |
| ○教育内容の充実                            | 6  |
| ○教育環境の充実                            | 11 |
| ○学校の教育力の向上                          | 13 |
| ○交通安全対策の充実                          | 16 |
| ○生涯学習体制の充実・学習環境の充実                  | 18 |
| ○芸術・文化活動の振興                         | 20 |
| ○歴史・文化の保全と活用                        | 22 |
| ○スポーツ・レクリエーション活動の促進、<br>スポーツ施設整備の促進 | 24 |
| ○人権意識の高揚                            | 26 |
| ○放射線対策の推進                           | 28 |
| ○新型コロナウイルス感染症対策の取組                  | 30 |
| 8 点検評価報告書に対する外部意見                   | 33 |
| 9 資 料                               | 39 |

参 考：地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 1 はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないと定められています。本報告書は、同法の規定に基づき、蓮田市教育委員会が行った点検評価の結果をまとめたものです。

## 2 点検評価の基本方針

### (1) 目的

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、蓮田市教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況を自ら点検評価し、その結果を議会に報告するとともに市民に公表することとしています。

本点検評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たすことを目的としています。

### (2) 点検評価の対象及び方法

教育行政の基本政策は、市政運営の基本となる計画である「蓮田市第5次総合振興計画」（計画期間：平成30年度～令和9年度）に位置付けられています。

点検評価の対象は、総合振興計画に位置付けられた教育委員会所管の基本政策のうち、令和4年度に実施した主要な事業とし、その取組と成果について、教育委員会が点検評価を実施しました。

なお、各政策において、令和4年度に重点的に取り組んだ事業及び新規に取り組んだ事業について、それぞれ次のとおり示します。

重点的に取り組んだ事業 … **重点**

新規に取り組んだ事業 … **新規**

## 3 学識経験者の知見の活用

点検評価の客観性を確保するため、教育に関する学識経験を有する者の知見を活用しました。

学識経験者：群馬大学教授 霜田浩信氏

## 4 達成度及び教育委員会評価の判断基準

### ○達成度の判断基準

- A…事業成果が十分である
- B…事業成果が相当程度である
- C…事業成果がやや不十分である
- D…事業成果が不十分である

### ○教育委員会評価の判断基準

- A…目標の達成が十分である
- B…目標の達成が相当程度である
- C…目標の達成がやや不十分である
- D…目標の達成が不十分である

《蓮田市の将来像》 第5次総合振興計画 抜粋

## 四季かおる つながり 安心 <sup>い</sup> 活きるまち

蓮田市では、子どもたちを含め市民誰もが、明るくいきいきと健やかに生活できるまちづくりを目指しています。子どもたちがのびのびと育つ教育環境を整備するとともに、すべての人々が主体的に自己の人格を磨き、生涯にわたって学ぶ喜びを享受でき、健康で心豊かに生きることのできる能力や態度を育成します。

### 基 本 理 念

1 未来の希望が輝くまちをつくる

2 学び合い、豊かな心を育むまちをつくる

#### 1 未来の希望が輝くまちをつくる

国際化や情報化の進展など変化の激しい現代社会の中では、一人ひとりが社会的に自立し、持てる能力を発揮することが求められています。蓮田市では、出産、子育て、教育に至るまで一体となった取り組みを行うとともに、未来を託す人づくりのため、学習内容の基礎・基本の定着を図り、「主体的・対話的で深い学び」アクティブ・ラーニングの充実と、個性を伸ばし「生きる力」の確実な育成を目指し、知・徳・体のバランスのとれた子どもを育成します。

#### <基本方針>

##### (1) 学校教育の充実

将来を展望し、社会の変化や児童・生徒の変化に対応し、生きる力を育む教育の実現を目指します。

- ① 教育内容の深化充実と人材の育成
- ② 安心・安全な教育環境の整備
- ③ 開かれた学校づくりと学校の教育力の向上

##### (2) 子育て支援の充実

未婚者の出会いの機会創出を促進するとともに、それぞれが望む人数の子どもを得ることができ、安心して子どもを産み育てられるようにするため、子育てに関するさまざまな不安や負担を減らす切れ目のない支援を行い、地域全体で子育て家庭を支援するための環境づくりを行います。

- ① 結婚・出産、子育ての切れ目のない支援
- ② 子育て支援拠点施設の整備と利用の促進

- ③ 地域の関係機関と連携した子育て支援
- ④ 安心・安全な保育環境と幼児教育の充実
- ⑤ 健全育成のための環境づくりと権利の保障

## 2 学び合い、豊かな心を育むまちをつくる

市民一人ひとりがさまざまな学習の場を通して、文化的教養を高められるよう、また、学習によって得た知識や技術といった成果が地域社会に反映できるよう、生涯学習を総合的に推進するとともに、人と人との関係を大切にしていくなちづくりを目指します。

### <基本方針>

#### (1) 生涯学習を通した生きる力の育成

多様化する市民の学習ニーズに対応し、市民一人ひとりの心豊かな充実した生活を実現するため、市民の自発的学習活動への援助と社会教育施設の整備を進めます。また、異文化に対する理解を育み、共感・共存できる環境を整えるなど、国際交流・多文化共生を踏まえた生涯学習の普及・啓発を図ります。

- ① 生涯学習の体制と環境の充実
- ② 青少年育成団体等の活動の促進

#### (2) 地域に根ざした文化の継承と活用

自発的な芸術・文化活動を支援するとともに、人材の発掘・育成・活用を図ります。また、市内に残る歴史的遺産や文化財の保全、今に受け継がれる文化の保存継承とその活用を図ります。

- ① 芸術・文化活動の振興
- ② 歴史・文化の保全と活用

#### (3) スポーツ・レクリエーションの振興

市民があらゆる機会を通じて、スポーツ・レクリエーション活動に参加できるように、生涯スポーツを目指したスポーツ環境の整備を推進します。

- ① スポーツ団体等の育成・支援と連携事業の充実
- ② スポーツ施設整備の推進

#### (4) 人権意識の高揚

人権尊重社会を実現するために、あらゆる機会をとらえて人権に関する教育及び啓発を推進していきます。また、男女が社会の対等な構成員として社会的・文化的な利益を等しく享受できる男女共同参画社会を実現するための環境づくりを推進します。

- ① 人権教育・啓発活動の推進
- ② 関係機関等と連携した相談体制の充実

# 令和4年度蓮田市教育行政重点施策

## まちづくりの基本理念

- 1 潤いのある自然・文化のかおるまち
- 2 人々がふれあう連携・協働によるまち
- 3 安心・安全に生活できるまち
- 4 地域の活力を高めるまち

(蓮田市第5次総合振興計画)

## 四季かおる つながり 安心 活きるまち

(蓮田市・はすびい)

### 1 未来の希望が輝くまちをつくる

### 2 学び合い、豊かな心を育むまちをつくる

教育基本法  
児童福祉法  
社会教育法  
スポーツ基本法  
第3期埼玉県  
教育振興基本計画



黒浜式土器

#### (1)生涯学習を通して生きる力の育成

- ① 生涯学習の体制と環境の充実
  - ・幅広い世代に向けた学びの機会提供
  - ・社会教育施設の整備や、サービスの充実化を通じた、学び・学びあいの環境づくり
  - ・地域で活動する団体や人材の支援・活用を通じた学びの成果を地域に活かす環境づくり
- ② 青少年育成団体等の活動の促進
  - ・関係団体への支援と連携
  - ・子育て講座や家庭教育学校級の開催

#### (3)スポーツ・レクリエーションの振興

- ① スポーツの振興
  - ・スポーツ団体等の育成、支援
  - ・スポーツ・レクリエーションの普及
  - ・学校施設開放の推進
- ② スポーツ施設等の整備
  - ・スポーツ施設整備の推進



史跡黒浜貝塚 縄文の海

#### (1)学校教育の充実

- ① 教育内容の深化充実と人材の育成
  - ・確かな学力の定着
  - ・自立的に生きる力の育成
  - ・人権教育の充実
  - ・いじめ防止の推進
- ② 安心・安全な教育環境の整備
  - ・教育施設等の計画的整備
  - ・安心・安全な学校給食提供の徹底
- ③ 開かれた学校づくりと学校の教育力の向上
  - ・教職員の資質向上
  - ・幼・保・小・中の連携と小中一貫教育の推進

#### (2)子育て支援の充実

- ① 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援
  - ・関係機関と連携し、婚活支援事業の推進
  - ・子ども・子育て支援事業計画に基づいた諸事業の充実
  - ・家庭における子育て支援の充実
  - ・保育サービスの充実
- ② 親と子供の健康づくりの推進
  - ・妊娠期、乳児期からの健康づくり
- ③ 子どもに安全なまちづくりの推進
  - ・子どもを犯罪から守る環境づくり



ふれあい子育て「はじめての絵本」



タブレット端末を活用した授業研究

#### (2)地域に根ざした文化の継承と活用

- ① 芸術活動、文化活動の振興
  - ・市民文化活動の支援
  - ・市民が集う総合文化会館の事業の展開
- ② 歴史・文化の保全と活用
  - ・史跡黒浜貝塚の整備と活用
  - ・文化財の保護と文化財展示館を中心とした啓発活動

#### (4)人権意識の高揚

- ① 人権教育・啓発活動の推進
  - ・人権研修会や講演会の充実
- ② 相談体制の充実
  - ・人権尊重社会実現のための情報提供・相談体制の充実



| 政策名                  | 地域の関係機関と連携した子育て支援                                          |
|----------------------|------------------------------------------------------------|
| 第5次総合振興計画における政策の位置付け | I 未来の希望が輝くまちをつくる                                           |
|                      | 3 地域や家庭における子育て支援                                           |
|                      | (3) 地域の関係機関と連携した子育て支援                                      |
| 政策の概要                | 子育て中の保護者に対して、子育てや家庭・学校教育に関する学習機会の提供を行い、家庭の教育力の向上に向けた支援を行う。 |

| 主 要 事 業 名  | 決 算 額    | 担 当 課  |
|------------|----------|--------|
| 1 家庭教育支援事業 | 3,895 千円 | 子ども支援課 |

| 令和4年度の取組と成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 達成度 | 3年度 | 4年度 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|-----|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |     | A   | A   |
| <b>1 家庭教育支援事業</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |     |     |     |
| <p>親の子育て中の悩みや不安を払拭し、自信を持って子育てができるよう、家庭の教育力の向上に向けた様々な支援に取り組んでいます。</p> <p>幼児家庭向けに「WA になってあそぼう」、主に小学校1年生を持つ家庭向けに「委託家庭教育学級」、小学校2年生から中学生を持つ家庭向けに「自主家庭教育学級」を開催するとともに、1月には子育て講演会「デジタルシティズンシップ」を開催しました。</p> <p>また、家庭教育学級の成果をPRする活動展を蓮田駅西口行政センターオープンギャラリーで開催したほか、「学校を休みがちな子をもつ親のつどい」を月に1回開催し、時代に即した家庭教育を支援しました。</p> <p>家庭教育支援事業の成果については、参加した方々から、同級生の子どもを持つ親と知り合うことができ子育ての不安の軽減につながった、市の担当者となつたり市の事業に参加しやすくなったといった評価をいただいております、一定の効果があつたと感じています。</p> |     |     |     |

| 課 題 と 今 後 の 方 針                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>共働き世帯の増加により学級生の確保が課題になっています。しかしながら、テーマ別の「学校を休みがちな子をもつ親のつどい」では、毎回リピーターが出るほど盛況になっています。今後も子育て支援に関する情報や仲間づくりのきっかけを提供していくとともに、時代に即した家庭教育支援事業を創出していきます。</p> |

| 教 育 委 員 会 評 価（教育長・教育委員）                                                                                                               | 達成度 | 3 年度 | 4 年度 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|------|------|
|                                                                                                                                       |     | A    | A    |
| 子育てをする保護者に対する温かい支援・取り組みが定着してきていると感じます。保護者の方が相談しやすい環境ができており、子育てに自信が持てるような環境の整備がされています。子どもの様子などから保護者のＳＯＳを見出して繋がりを増やす取り組みを進めていただくよう望みます。 |     |      |      |

| 政策名                  | 教育内容の充実                                             |
|----------------------|-----------------------------------------------------|
| 第5次総合振興計画における政策の位置付け | I 未来の希望が輝くまちをつくる                                    |
|                      | 4 学校教育の充実                                           |
|                      | (1) 教育内容の充実                                         |
| 政策の概要                | 地域や学校、児童・生徒の実態に応じた教育課題を明確にし、主体的に学ぶことができる教育内容の充実を図る。 |

| 主要事業名 |                      | 決算額       | 担当課   |
|-------|----------------------|-----------|-------|
| 1     | 一人ひとりを大切にした教育の充実推進事業 | 2,532 千円  | 学校教育課 |
| 2     | 小・中学校人権教育推進事業        | 680 千円    |       |
| 3     | 特別支援教育推進事業           | 206 千円    |       |
| 4     | 外国語指導助手招致事業          | 26,526 千円 |       |
| 5     | 小学校外国語活動推進事業         | 1,098 千円  |       |
| 6     | 中学生国際親善訪問団事業         | 0 千円      |       |
| 7     | 学力向上推進事業             | 2,532 千円  |       |
| 8     | 市費による非常勤講師等配置事業      | 45,117 千円 | 教育総務課 |
| 9     | 新学習指導要領への対応          | 6,227 千円  | 学校教育課 |

| 令和4年度の取組と成果 | 達成度 | 3年度 | 4年度 |
|-------------|-----|-----|-----|
|             |     | A   | A   |

## 1 一人ひとりを大切にした教育の充実推進事業

教育委員会では、毎年学校教育における諸課題を学校に研究委嘱しており、令和4年度は、前年度に研究委嘱した2校、今年度に研究委嘱した1校の計3校が研究授業、研究発表を行いました。

黒浜南小学校においては、研究課題「一人一人が意欲をもって問題解決に取り組み、自分の考えを表現できる児童の育成～算数科の授業改善・学習展開の工夫～」を掲げ、研究授業、研究発表を行いました。

黒浜中学校においては、研究課題「数学の力を伸ばすための指導の工夫」～数学的思考力、表現力を伸ばす指導法～を掲げ、研究授業、研究発表を行いました。

黒浜小学校は、体力向上において研究課題「わかる喜び・できる喜びを味わい体力を高める子の育成～自己肯定感を育む授業改善の推進～」を掲げ、研究授業、研究発表を行いました。

このほか、平野小学校・黒浜西中学校の小学校1校、中学校1校に研究委嘱を行いました。

また、「蓮田市の未来を語る子ども議会」を8月2日に開催しました。

蓮田市・松川町小学生交流事業は、新型コロナウイルス感染対策のため、小学校5年生がオンライン会議で交流を行いました。

## 2 小・中学校人権教育推進事業

人権教育全体計画を市内全小・中学校において作成し、教育活動全体を通じて人権教育推進に取り組みました。児童・生徒の正しい人権感覚を育成するために、人権作文や標語の作成・人権の花の栽培、人権教育映画の鑑賞や人権教育講演会の開催等を実施しました。

8月には、人権教育研修会を市内教頭、主幹教諭及び教務主任を対象に実施し、蓮田市教職員人権教育研修会では全教職員を対象にオンラインで実施しました。教職員の人権感覚を高めるために、県からの通知やリーフレット等を適宜配布しました。



### 3 特別支援教育推進事業

蓮田市就学支援事業として、蓮田市就学支援委員会委員に各小・中学校の校長、教員、校医、学識経験者、関係課職員、計 58 名を委嘱しました。就学支援専門委員会・就学相談会を含め年間 5 回の会議を開催し、一人ひとりの力を伸ばすためのより良い就学先について協議を行い、保護者に提案しました。保護者とも相談を重ね、就学支援を必要とする幼児・児童・生徒への教育的支援を継続的に行い、適正な就学先が決まりました。

また、蓮田市巡回相談については、蓮田市巡回相談サポートチームを学識経験者、特別支援学校特別支援教育コーディネーター及び市教職員等 5～6 名で編成するところを、新型コロナウイルス感染症対策のため、最小限の 4 名とし、各小・中学校に 1 回ずつ訪問しました。巡回相談は就学後の児童・生徒の様子を継続的に見ることが出来るシステムであり、この事業の結果、通常の学級に在籍しながらも特別な支援を必要とする児童・生徒への指導法について指導助言を行い、日々の指導に生かすことができました。さらに、特別支援学級担当者会議を開催し、市内の特別支援学級における共通理解を図り、研修を深めることができました。

そのほかに、特別支援学級の交流・支援を目的とした市内小中学校特別支援学級交流事業として予定していた、市内中学校特別支援学級合同宿泊学習は中止となりました。合同学習会は夏は実施、冬は中止、市内小学校特別支援学級合同遠足、市内中学校特別支援学級合同遠足は実施となりました。

### 4 外国語指導助手招致事業 **重点**

外国語指導助手（JETプログラムによるALT）を 6 名招致しており、各中学校に 1 名ずつ配置し、小学校に 1 名配置しています。ALT が授業へ参加することにより、英語で意思を伝え合うことの難しさを感じたり、通じた時の喜びを感じたりして、英語を身近なものと感じさせるとともに、英語教育の充実及び、生徒のコミュニケーション能力を高める授業を推進することができています。

本市は小学校での外国語教育にもALTを活用しており、ALTを各中学校区の小学校に、週 1～2 日派遣し、外国語サポーターや各小学校教員と協力して、小学校外国語教育の充実を図っています。子どもたちの英語への興味関心を高める取組となっています。

定期的に行っているALTミーティングでは、市内各校での英語の授業についての情報交換を行い、授業に関するアイデアなどを共有しています。

本事業を通して、市内の小学校及び中学校において、国際理解教育・英語教育の推進を図ることができました。ALTと触れ合う機会が増えることで、コミュニケーション能力の素地づくりに着実に効果を上げています。また、児童の英語への興味関心を高め、中学校英語学習への円滑な接続を図るとともに、異文化理解や英語学習の基本的な知識習得もできています。

### 5 小学校外国語活動推進事業 **重点**

小学校において、ALTや小学校外国語活動サポーターを効果的に活用し、外国語活動及び外国語科の授業を実施しました。ALTが授業に参加し、児童が英語に身近に触れることで英語に対する関心が高まっています。小学校外国語科においては「書くこと」の活動も取り入れ、中学校における英語教育への円滑な接続を図っています。なお、実践的な演習を中心に研修を深め、英語指導力の向上を図るために、中学校英語科教員、小学校外国語活動担当教員、小学校教員、小学校外国語活動サポーターを対象に、英語教育に関する研修会を夏季休業中に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため指導力向上に資する資料を配布するのみとなりました。

また、本市と交流があるオーストラリア・マジュラバ州立小学校とアランデル州立小学校からのホームステイ受入れも、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

## 6 中学生国際親善訪問団事業 **重点**

国際的視野や国際感覚を持った「人財」の育成、外国の歴史・文化の理解、蓮田市の次代を担うリーダーの育成等を目的として国際親善訪問団事業を実施しています。例年、市内の中学生を対象に7月下旬から8月上旬にかけてオーストラリア・クイーンズランド州ゴールドコースト市へ派遣しておりますが、ここ数年、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大しており、訪問団の安全確保が最優先であることから、今年度についても、中止となり、再開の見通しは立っていません。

例年であれば、現地の小学校で3日間の授業体験や茶道、折り紙等の日本文化の紹介及び5泊のホームステイ等の経験をしています。また、訪問の事前研修会では日本文化や外国の生活習慣について理解を深め、帰国後は体験報告会を開催して本市の国際理解・国際交流の一端を担っています。



(※2019年の訪問の写真)

なお、現地校の担当の先生とは新型コロナウイルスの感染状況などの情報交換を定期的に行っており、現在、これまでと異なる形での交流も含めて検討しています。

## 7 学力向上推進事業

個に応じたきめ細かな指導の充実を図るため、小学校低学年への非常勤講師の配置、30人学級や少人数指導を実施し、各学校や児童・生徒の実態に応じて、学力向上の推進に向けて取り組みました。

児童・生徒の自ら学ぶ意欲、関心の向上を図り、「主体的・対話的で深い学び」としてアクティブ・ラーニングの充実と、ねらいのわかる授業を実践しました。また、各学校の実態に合わせた取組として、習熟度別学習、少人数指導、ティーム・ティーチングといった、個々の課題に応じた補充学習のほか、1人1台タブレットPCを活用した課題学習、家庭学習における家庭との連携等を、教育課程に位置づけました。

令和4年度の埼玉県学力・学習状況調査における結果は、全学年、全教科のほぼ全領域で県の平均正答率を上回りました。特に、算数・数学の伸びが大きいという結果が見られました。算数・数学学力向上推進委員会と国語学力向上推進委員会の取組を継続的に進めています。

## 8 市費による非常勤講師等配置事業

小学校低学年を対象とする少人数指導の一環として、小学校30人学級非常勤講師を、児童数に基づき対象となった3校に配置しました。これは「市町村立学校職員給与負担法」の基準では措置されない講師等を市費により配置し、学習指導の充実ときめ細かな生活指導を図るものです。

また、各学校からの要望と実態に即して、以下の市費教職員を配置しました。

通常学級における生活安全面の配慮と学級生活の補助を目的として、生活支援員を全小学校と中学校1校に計11名配置しました。

特別支援学級での指導補助を行う特別支援学級介助員を、小学校7校及び中学校2校に計13名配置しました。

中学校においては、各校が必要とする教科の教員免許状を有した、中学校教科指導補助講師を全校に1名ずつ配置し、生徒それぞれに応じた教科指導補助を行いました。

## 9 新学習指導要領への対応

新学習指導要領の全面実施に伴い増加する授業時数の確保と、教育活動のさらなる充実を図るため、市内校長2名、教頭2名、委員9名、事務局職員2名から成る「教育課程検討委員会」を組織し、協議しました。小中学校で新型コロナウイルス感染症による臨時休業に伴う、不足時数の確認と、解消方法などについて情報共有し、1人1台端末の活用方法について協議しました。

また、令和3年度から負担軽減検討委員会を兼ねることとし、各学校の負担軽減検討策について情報共有しました。

## 課 題 と 今 後 の 方 針

思考力を向上させる授業の充実が課題であり、一人でじっくり考える時間とみんなで話し合っ  
て作り上げる時間、自分の言葉で授業のまとめをする時間を位置づけるなどの方策が今後とも必  
要になります。今後も各学校への指導を継続し、「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラ  
ーニング)を実現する授業を展開し、一人ひとりを大切にした教育の充実を図ります。

「未来を語る子ども議会」については児童・生徒の参加意識が高まっており、事業の発展と一  
層の充実を図り、引き続き感染症対策を講じた上で事業を進めていきたいと考えています。

蓮田市・松川町小学生交流事業についても、参加する児童の、蓮田市の代表であるという意識  
が年々高まると同時に、互いの市町の良さを認め合う場となっています。次年度は、蓮田市の児  
童が、松川町に赴き、該当学年の代表児童を対象に交流予定です。コロナ収束後も継続的な事業  
の推進を行い、松川町との連絡を密にして一層充実した取組を図ります。

人権教育では、同和教育について学校現場でどのように指導していくか研究を深める必要があ  
ります。管理職や教職員を対象とする研修会の更なる推進により、人権に対する意識の高揚を継  
続して進めます。また、今後も、「同和問題」「障がい者」「外国人」「女性」「高齢者」「児童虐待」  
「ヤングケアラー」「性の多様性」等について、計画的に研修会を実施し、各学校において人権教  
育がさらに推進され、児童・生徒の人権に対する意識を高め続けるよう努めてまいります。

特別支援教育推進事業では、必要に応じて特別支援学級の障害種に応じた学級編制も視野に入  
れ、個々に応じた適切な就学支援や特別支援の充実を図ります。具体的には、年々多様化する保  
護者や児童・生徒のニーズと、多岐にわたる就学相談ケースに可能な限り対応できるようにする  
ことが課題であり、特別支援教育の専門的な知識を有する教員の人材育成が必要です。このため、  
研修会の充実による人材育成とともに、関係諸機関との情報交換連携の更なる充実を図ります。  
また、蓮田市発達支援相談室「すてっぷ」と連携し、発達支援の充実をより一層図っています。

中学校国際親善訪問団事業は、本市の国際理解と国際交流の推進に大きな役割を示していると  
考え、現段階では、今後も継続実施の予定であります。近年の新型コロナウイルス感染症の世  
界的な拡大により、現地へのホームステイが非常に困難な状況で見通しを持つことが困難である  
ことから、これまでとは異なる形での交流も検討していきます。

外国語指導助手招致事業では、ALTの増員及び小・中学校13校全校への常駐配置と、人材  
の安定的な確保が課題となっています。

小学校外国語活動推進事業については、小学校外国語活動サポーターの増員・人材確保が課題  
となっているため、その活動内容について広報等を用いて一層広く周知に努めます。また、小学  
校教員の授業力の向上のため、小学校外国語活動サポーターとの連携を深めます。

学力向上については、市全体では概ね県平均を上回る良好な結果でしたが、それぞれの学校で  
は教科の内容項目において課題が見られます。更なる学力の向上のため、各学校における学習課  
題の適切な分析により、それぞれの学校の児童・生徒の実態に即した効果的な学習形態や指導方  
法の工夫などに努めてまいります。

また、本市で以前から意識的に取り入れるよう指導してきた「主体的・対話的で深い学び」(ア  
クティブ・ラーニング)を実践した授業と個別最適な学びの充実が課題であり、推進を図ります。

| 教 育 委 員 会 評 価（教育長・教育委員）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 達成度 | 3 年 度 | 4 年 度 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|-------|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |     | B     | A     |
| <p>学力の向上については確実に成果が出ていると感じます。キャリア教育に関しても13校それぞれが特色のある取り組みをされています。</p> <p>特別支援教育推進事業では、一人一人の個性に寄り添った適正な支援・指導をされていることが感じられます。市内各学校の連携を密にし、多様なニーズに応えられるような体制を強化していただきたいと思います。</p> <p>今後の課題については「英語教育の強化」があげられます。指導助手を増やすなど、効果が期待できる取り組みの検討を望みます。それと同時に、国際親善訪問団事業の再開を期待します。</p> <p>また、市費による非常勤講師等配置事業については、教育現場の人手不足を少しでも改善できるよう、人材の確保に努めていただき、教職員の負担軽減を図るよう期待します。</p> |     |       |       |

| 政策名                  | 教 育 環 境 の 充 実                                           |
|----------------------|---------------------------------------------------------|
| 第5次総合振興計画における政策の位置付け | I 未来の希望が輝くまちをつくる                                        |
|                      | 4 学校教育の充実                                               |
|                      | (2) 教育環境の充実                                             |
| 政策の概要                | 学校・家庭・地域が一体となり、児童・生徒が過ごしやすく、保護者や地域の人々に信頼される教育環境の整備に努める。 |

| 主 要 事 業 名 |                |                      | 決 算 額      | 担 当 課  |
|-----------|----------------|----------------------|------------|--------|
| 1         | 小・中学校大規模改修事業   | (黒浜北小学校校舎トイレ改修事業)    | 122,221 千円 | 教育総務課  |
|           |                | (平野小学校校舎外壁等改修事業)     | 63,228 千円  |        |
|           |                | (黒浜西中学校校舎体育館外壁等改修事業) | 47,300 千円  |        |
| 2         | 小・中学校校庭整備事業    |                      | 796 千円     | 教育総務課  |
| 3         | G I G A スクール構想 |                      | 13,591 千円  | 学校教育課  |
| 4         | 就学援助費の支給事業     |                      | 46,838 千円  | 子ども支援課 |

| 令 和 4 年 度 の 取 組 と 成 果 |  | 達成度 | 3 年度 | 4 年度 |
|-----------------------|--|-----|------|------|
|                       |  |     | A    | A    |

### 1 小・中学校大規模改修事業 **重点**

主な学校施設整備として、黒浜北小学校校舎トイレ改修工事、平野小学校校舎屋上防水及び外壁改修工事、黒浜西中学校校舎体育館屋根、外壁及び照明器具改修工事を実施しました。また、次年度に向けて黒浜小学校給食棟改築工事の設計委託、蓮田中央小学校校舎増築工事の設計委託なども実施しました。このほか、蓮田中学校浄化槽ブロワー等更新工事、小学校エアコン設置及び更新工事、黒浜南小学校体育館照明改修工事など、学校や地域からの要望に対応しました。

また、軽微な修繕としては、133 件、計 13,845 千円の修繕を実施し、児童・生徒が安全で快適な学校生活を送ることができるよう、きめ細かな施設環境整備に努めました。



黒浜北小学校校舎トイレ改修工事

### 2 小・中学校校庭整備事業

子どもたちが身近な緑と触れ合える環境を整備するため、校庭の一部を芝生化している平野小学校と平野中学校について、芝生の維持管理業務委託を実施しました。

### 3 G I G A スクール構想

国の G I G A スクール構想の理念を踏まえ、1 人 1 台端末環境の利活用によるアクティブ・ラーニングの充実をさらに推進してまいります。令和 2 年度内に市内小・中学校にタブレット端末を納品し、導入に向けて学習環境整備を図り、教員研修などを計画し実施しました。

今までの教育実践を継承しつつ、I C T の効果的な活用の研究を推進し、1 人 1 台端末環境を活かした主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。令和 4 年度は、各学校の I C T 推進リーダーによるオンライン会議を年に 5 回実施し、Microsoft Teams を使ったオンライン会議（代表の児童・生徒）や授業参観や発表会等のライブ配信を行いました。今後も導入メーカーやソフ

トウエア企業等から講師を招聘して教員研修の実施・計画をし、情報教育担当者によるＩＣＴ活用推進リーダーの育成を目指します。

#### 4 就学援助費の支給事業

就学援助費の適正支給を行うとともに、すべての児童・生徒の保護者に配付する「就学援助の案内」に認定の目安を同封し、就学援助制度が、就学援助を必要とするすべての家庭にいきわたるよう制度の充実に努めました。

### 課 題 と 今 後 の 方 針

蓮田市では、竣工から 40 年を迎える学校施設が増加しつつあるため、安心安全な教育環境を整える改修が必要となってきました。今後も引き続き、学校施設の老朽化対策に重点を置いて取り組みます。

国の G I G A スクール構想に基づき、1 人 1 台端末の本格運用が始まり、各学校での効果的な活用を進める必要があります。各学校の I C T 活用推進リーダーへの研修を開催する等、引き続き各学校での利活用の推進を支援していきます。また、各種の取扱規定等の策定が必要となります。近隣自治体と情報共有し、検討・実施を進めます。

就学援助費では、引き続き適正支給を行うとともに、要保護児童・生徒、特別支援教育就学児童・生徒の国の単価引き上げに合わせて、準要保護児童・生徒の単価引き上げを行うなど制度の充実に努めます。

### 教 育 委 員 会 評 価（教育長・教育委員）

#### 達成度

3 年度

**A**

4 年度

**A**

トイレの改修工事等、学校施設の老朽化に対する整備を計画的に進めることで、子どもたちの学校生活がより充実したものになると期待しています。今後も、学校や地域からの要望に寄り添った整備を進め、子どもたちの安心・安全につなげていただくよう望みます。

G I G A スクール構想については、1 人 1 台端末のメリットを最大限活かせるよう、I C T 推進リーダーを中心として A I 技術の活用が図られるよう期待します。また、他市町の取り組み等も参考として、柔軟で効果的な利用の検討をお願いします。



| 政策名                  | 学 校 の 教 育 力 の 向 上                                                                                |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第5次総合振興計画における政策の位置付け | I 未来の希望が輝くまちをつくる                                                                                 |
|                      | 4 学校教育の充実                                                                                        |
|                      | (3) 学校の教育力の向上                                                                                    |
| 政策の概要                | 教職員の育成に力を注ぎ、資質の向上、学校の教育力の充実を推進する。地域の施設や人材と学校との協力関係を深めるとともに、学校・家庭・地域社会等との積極的な連携を図り、学校の教育力の向上に努める。 |

| 主 要 事 業 名 |               | 決 算 額    | 担 当 課 |
|-----------|---------------|----------|-------|
| 1         | 開かれた学校づくり事業   | 636 千円   | 学校教育課 |
| 2         | 教職員の資質向上事業    | 2,532 千円 | 学校教育課 |
| 3         | コミュニティ・スクール事業 | 42 千円    | 学校教育課 |

| 令 和 4 年 度 の 取 組 と 成 果 | 達成度 | 3 年 度 | 4 年 度 |
|-----------------------|-----|-------|-------|
|                       |     | A     | A     |

### 1 開かれた学校づくり事業

各学校が新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、実施形態を工夫して公開可能なものを実施し、学校の教育活動への理解を深めていただく機会としました。

|         |                                                                 |                               |
|---------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 蓮田南小学校  | ①南小PTAバザー（中止）<br>③南っ子絵画展                                        | ②学校公開（2部に分けて実施）<br>④南小まつり（中止） |
| 蓮田北小学校  | ①スマイル給食（中止）<br>③蓮田北小PTAバザー（中止）                                  | ②学校公開<br>④音楽鑑賞会（中止）           |
| 平野小学校   | ①さつまいも集会（規模縮小）<br>②学校公開（規模縮小）<br>③ふるさとクリーン作戦<br>④平野小・中合同バザー（中止） |                               |
| 黒浜小学校   | ①黒浜ウォークラリー（規模縮小）<br>②黒小バザー（中止）<br>③ふれあい授業参観<br>④芸術鑑賞会（中止）       |                               |
| 蓮田中央小学校 | ①「逃走中」イベント<br>②学校公開<br>③歌声集会（オンライン形式で実施）<br>④ユネスコスクール講演会        |                               |
| 黒浜西小学校  | ①学校公開（分散開催）<br>②全校集会「プレイランド」（規模縮小）<br>③黒浜西小PTAバザー<br>④音楽鑑賞会（中止） |                               |
| 黒浜南小学校  | ①学校公開<br>②ふれあい交流会（中止）<br>③校内絵画展<br>④みのりの秋集会（規模縮小）               |                               |



黒浜西小学校 PTAバザー



- |        |                                                            |
|--------|------------------------------------------------------------|
| 黒浜北小学校 | ①あおぞら給食（中止）<br>②ファミリー授業参観（分散開催）<br>③PTAバザー（中止）             |
| 蓮田中学校  | ①授業公開（保護者会のみ）<br>②ふれあい講演会<br>③合唱コンクール                      |
| 平野中学校  | ①学校公開<br>②合唱コンクール<br>③平野小・中合同バザー（中止）<br>④クリーン作戦            |
| 黒浜中学校  | ①ふれあい講演会<br>②進路学習会<br>③合唱コンクール<br>④人権集会                    |
| 蓮田南中学校 | ①学校公開<br>②校内合唱コンクール<br>③薬物乱用防止教室                           |
| 黒浜西中学校 | ①学校公開<br>②合唱コンクール<br>③蓮田特別支援学校との交流会（中止）<br>④クリーン作戦（委員会で実施） |



蓮田南中学校 合唱コンクール

当年度も、保護者をはじめとする市民に学校の教育活動の理解をより一層深めていただくため、毎月定期的に学校だよりや学校ホームページ等で情報を発信しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、多くの活動を制限しながらの実施となりましたが、学校評議員と連携しつつ、保護者や地域住民等の意向を学校の教育活動へ反映することができました。また、学校応援団を組織し、感染症対策をとりながら実施可能な活動を通して、児童・生徒の登下校の安全指導をはじめ、環境整備、学習支援等に協力いただくことができました。次年度への改善・検証の参考にするため、教職員の自己評価や児童・生徒の評価、保護者アンケート等の学校評価を行いました。

## 2 教職員の資質向上事業

教職員自らがその職責を深く自覚し、自己啓発に努め、市民の期待と信頼に応えられる教育実践を行うよう次のような研修を体系的、計画的に実施しました。また、研修形式は、段階的にアクティブ・ラーニング型研修へと移行しています。

### ①経験に応じた研修

- \* 初任者研修 13名参加：授業研究1人につき教科・領域で2回、市文化財研修1回（中学校教員）
- \* 若手教員（4年次）研修会 3名参加：授業研究1人につき1回、県の指導者による講義（映像資料による）1回
- \* 臨時的任用教員研修 9名参加：県主催の全体研修1回、授業研究会1人につき2回、夏季研修会（机上研修）1回
- \* 5年経験者研修 6名参加：所属校研修3日間、異校種研修（机上研修）、センター等研修5日間
- \* 中堅教諭等資質向上研修 6名参加：教育センター等での研修11日間、共通研修2日間、教科指導研修6日間、生徒指導研修2日間

## ②教科領域等に関する研修

＊算数・数学学力向上推進委員会、国語学力向上推進委員会、英語・小学校外国語指導者研修会、社会科副読本編集委員会、体力向上推進委員会、巡回相談、教育相談員連絡協議会等

## ③教育課題、学校経営に関する研修

＊校長研究協議会、教頭研究協議会

＊中堅職員育成講座 14名参加：喫緊の教育課題と事例研究、魅力ある学年・学級経営や基礎的な教育法規について学び、教員としての資質向上を図りました（課題レポートの提出）。

＊各教科・領域教育研究会による授業研究協議会等により、教職員の実践力の向上が図られました。

## ④教育委員会による各種訪問事業

＊教育長訪問、教育支援担当訪問、学校管理訪問、校内研修指導訪問を計画的に実施し、学校の教育課題の解決を図りました。

# 3 コミュニティ・スクール事業

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校」への転換を図るコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）について、平野小学校と平野中学校をモデル校に指定しました。学校運営協議会委員として7名の方に委嘱を行い、学校と地域が一体となって子供たちを育むための方向性等について、令和4年度は8月と1月に協議会を開催しました。学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となった魅力的で特色がある学校づくりを進めていきます。

## 課 題 と 今 後 の 方 針

今後も、学校評議員による学校評価等の取組、学校応援団組織の定着と充実を図り、家庭・地域とのつながりを密にし、心豊かに主体的に行動できる児童・生徒を育成する教育活動を推進します。

コミュニティ・スクールについては、モデル校での実施状況を踏まえ、今後も「地域とともにある学校」づくりを一層推進していきます。

## 教 育 委 員 会 評 価（教育長・教育委員）

### 達成度

3年度

**A**

4年度

**A**

開かれた学校づくり事業では、感染症対策のため活動が制限されている中、公開可能な事業を実施していただけたことで学校と地域の繋がりがより深まったのではないかと感じます。

コミュニティ・スクール事業については、地域と足並みを揃えて進めていく必要があります。コミュニティ・スクールは現在、平野小学校と平野中学校がモデル校となっていますが、地域に対して明確な方向性を示し、学校と地域が協働して事業を推進していただくことを期待しています。

| 政策名                  | 交通安全対策の充実                                      |
|----------------------|------------------------------------------------|
| 第5次総合振興計画における政策の位置付け | Ⅱ 健康で安心して暮らせるまちをつくる                            |
|                      | 9 交通安全対策の推進                                    |
|                      | (1) 交通安全対策の充実                                  |
| 政策の概要                | 登下校時の児童・生徒の安全を確保するために、地域の見守り組織や小・中学校間の連携強化を図る。 |

| 主 要 事 業 名    | 決 算 額 | 担 当 課 |
|--------------|-------|-------|
| 1 通学路の安全確保事業 | 50 千円 | 学校教育課 |

| 令和4年度の取組と成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 達成度 | 3年度                                                                                   | 4年度 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------|-----|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |     | A                                                                                     | A   |
| <b>1 通学路の安全確保事業</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |     |                                                                                       |     |
| <p>市内全小学校にスクールガード・リーダーを配置し、児童・生徒の安全確保を図りました。スクールガード・リーダーに関しては、県施策である「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」により小学校区毎に各1名委嘱されています。</p> <p>また、市内全小・中学校で、保護者・学校応援団・防犯推進員の方々の協力をいただき、地域全体で学校安全に取り組む体制を構築し、防犯パトロールなどを行っています。</p> <p>このほか、市民への安心安全な下校への協力を啓発するため、防災行政無線を用いた、児童の声による防犯啓発放送を継続して行いました。</p> <p>児童・生徒に対する安全教育、防犯教育の取組も実施しました。埼玉県警非行防止指導班「あおぞら」等による薬物乱用防止教室・非行防止教室等の実施のほか、交通安全教室、防犯教室、地震や火災を想定した避難訓練等を実施し、危機回避能力の向上を図るとともに、安全に対する意識を高めています。</p> |     |                                                                                       |     |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |     |  |     |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |     | スクールガード・リーダーの様子                                                                       |     |
| <p>関係課や警察などと連携し、通学路合同点検を実施しました。関係者と共に、危険個所として挙げられた現地を確認し、対応内容や対応責任者などを共有しました。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |     |                                                                                       |     |

| 課 題 と 今 後 の 方 針                                                                                                                                                                                                          |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>不審者から児童・生徒を守るため、地域や家庭と連携した協力体制の構築を図り、交通事故防止に向けた地域・家庭・警察との更なる連携強化のほか、地震等による被害防止のため、PTAと連携した通学路の安全確保を行ってまいります。このほか、保護者に地域で起きた出来事の把握をしていただくため、メール配信システムや学校のホームページで情報を発信していますが、ホームページによる情報発信は学校によって差があるため、取組の拡大を図ります。</p> |

| 教 育 委 員 会 評 価（教育長・教育委員）                                                                                                                                                                                                                               | 達成度 | 3 年 度 | 4 年 度 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|-------|
|                                                                                                                                                                                                                                                       |     | B     | B     |
| <p>交通安全対策に関しては、学校・地域・家庭の連携がとても重要になってきます。また、時代の変化によって課題が変わってくるので、対応がとても難しいと思います。学童に通う子どもが増えたことで、集団下校が成立しなくなるという現状も目にしています。地域の協力を得ながら、子どもの安全を守るための柔軟な取り組みに期待します。</p> <p>また、子ども 110 番の家など、いざというときに子ども自身が助けを求められるような仕組みを子どもたちに知ってもらうため、さらなる周知をお願いします。</p> |     |       |       |

| 政策名                  | 生涯学習体制の充実・学習環境の充実                                                                                                        |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第5次総合振興計画における政策の位置付け | Ⅲ 学び合い、豊かな心を育むまちをつくる                                                                                                     |
|                      | 1 生涯学習を通じた生きる力の育成                                                                                                        |
|                      | (1) 生涯学習体制の充実 (2) 学習環境の充実                                                                                                |
| 政策の概要                | 社会構造の変化に伴い、多様化する市民の学習要求に対応し、市民一人ひとりが心豊かな充実した生活を実現するため、市民の自発的学習活動への援助と社会教育施設の整備を図るとともに、体系的、継続的な社会教育行政を推進し、生涯学習の普及・啓発に努める。 |

| 主 要 事 業 名 |                             | 決 算 額     | 担 当 課          |
|-----------|-----------------------------|-----------|----------------|
| 1         | 生涯学習推進事業                    | 935 千円    | 社会教育課          |
| 2         | 図書館システムの最適化及び学校図書館資源共有化推進事業 | 12,552 千円 | 社会教育課<br>(図書館) |
| 3         | 図書館機能・サービスの充実               | 37,044 千円 | 社会教育課<br>(図書館) |

| 令和4年度の取組と成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  | 達成度 | 3年度 | 4年度 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-----|-----|-----|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  |     | A   | A   |
| <b>1 生涯学習推進事業</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |  |     |     |     |
| <p>生涯学習の機会の提供と、生涯学習に関する各種情報の発信、各社会教育関係団体の支援を行い、市内の生涯学習活動の活性化に努めています。</p> <p>成人式 二十歳を祝う会については、出身中学校区ごとに回を2回に分けるなど、新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで、開催しました。対象者562名に対して事前参加申込者が407名、うち当日来場された対象者が387名となりました。また、20歳対象者のご家族は事前申込者が176名、当日来場者が135名でした。</p> <p>多彩な知識・技能を活かして地域で活躍することを望む生涯学習支援者を登録している人材バンク制度のPRを行うため、1日講座を実施しています。令和4年度は、令和3年度に引き続き、開催時期や会場を分散し年度を通じて実施することで、より多くのかたに参加いただける形で実施しました。</p> <p>情報誌の作成では、年1回発行の「生涯学習団体情報誌」において、生涯学習活動を行っているグループやサークル(126団体)の情報を掲載しました。「生涯学習イベントガイドブック」では、市内で開催される講座やイベントなど、学習機会の情報を掲載しています。令和4年度は9月に10～3月の行事(186件)を掲載した下半期版と3月に翌年度4～9月の行事(129件)を掲載した上半期版を発行しました。</p> <p>社会教育関係団体に対して補助金の交付を行っています。補助額に不用額が生じた団体については、年度末の実績報告の際に不用額の返還処理を行っています。</p> |  |     |     |     |
| <b>2 図書館システムの最適化及び学校図書館資源共有化推進事業</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  |     |     |     |
| <p>2月25日から3月3日までの間に、蔵書点検を実施しました。ICタグの導入により集中して点検作業を行い、効率的に実施することができました。</p> <p>小学校団体貸出巡回サービス事業として、令和3年度から2年を単位とし、全小学校を9回巡回し、900冊の本を貸出しました。</p> <p>貸出期間が長くなり、児童にゆっくり読んでいただけるようになりました。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |     |     |     |

### 3 図書館機能・サービスの充実

新たに展示のコーナーを設けるなど、書架の表示や展示等を工夫し、利用者が利用しやすいサービスを提供できるよう取り組みました。

図書館の電話機及び主装置の入替工事を行いました。これにより、サービス向上のための会話録音機能が追加され、また時間外の自動音声案内も流れるようになり、より利用者の利便性が向上した形となっております。

## 課 題 と 今 後 の 方 針

### 1 生涯学習推進事業

成人式 二十歳を祝う会については、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが 5 類感染症に移行したことを受け、1 回開催を予定しています。

1 日講座については、今年度も開催時期や会場を分散し年度を通じての実施を予定しています。

社会教育関係団体への補助金交付については、年度途中に事業執行計画の確認を行うことで、不用額が生じた際は速やかに処理ができるよう努めていきます。

### 2 図書館システムの最適化及び学校図書館資源共有化推進事業

図書館情報システムの活用について、今後もインターネット利用等のさらなる活用の検討を行い、利便性の向上に努めます。

また、令和 5 年度には図書館システムの更新手続きがあるため、それに向けた準備を行います。引き続き、学校との連携を踏まえた資料購入を行っていきます。

### 3 図書館機能・サービスの充実

電話機と主装置の入替工事を令和 4 年度に実施しました。

引き続き、快適な施設環境の整備に努めます。

## 教 育 委 員 会 評 価（教育長・教育委員）

### 達成度

3 年度

**B**

4 年度

**A**

感染症対策を講じながらも「成人式 二十歳を祝う会」を開催し、多くの方に来場していただいたことは地域の活性化にもつながっていると思います。

図書館機能・サービスについては、引き続き、利用者に寄り添った環境整備を進めていただくようお願いします。



|                      |                                                                                             |
|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 政策名                  | 芸術・文化活動の振興                                                                                  |
| 第5次総合振興計画における政策の位置付け | Ⅲ 学び合い、豊かな心を育むまちをつくる<br>2 地域に根差した文化の継承と活用<br>(1) 芸術・文化活動の振興                                 |
| 政策の概要                | 市民の自発的な芸術・文化活動の情報発信拠点として、また、催事や企画等の招致を図り、多くの市民が優れた芸術文化に接する場として活用できるようにするために、文化拠点施設の整備を推進する。 |

| 主 要 事 業 名    | 決 算 額     | 担 当 課   |
|--------------|-----------|---------|
| 1 総合文化会館運営事業 | 26,426 千円 | 文化スポーツ課 |

| 令和4年度の取組と成果                                                                                                                                                                                                             |  | 達成度     | 3年度<br>B | 4年度<br>A |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|---------|----------|----------|
| 1 総合文化会館運営事業 重点                                                                                                                                                                                                         |  |         |          |          |
| <p>ハストピアの自主事業として、東京混声合唱団の公演や、ピアノコンサート、ハストピアサポーターズ企画運営によるハストピアフェスティバルなどを開催しました。また、ストリートピアノ事業を定期的に実施しました。</p> <p>自主事業をはじめ、演奏会、講演会など、市民の皆様をはじめ延べ約73,400人の方にご利用をいただきました。新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着いてきており、利用者の数はコロナ禍前にほぼ戻っています。</p> |  |         |          |          |
| 総合文化会館利用状況                                                                                                                                                                                                              |  | 令和4年度   |          |          |
| どきどきホール                                                                                                                                                                                                                 |  | 20,898名 |          |          |
| 楽屋                                                                                                                                                                                                                      |  | 3,679名  |          |          |
| スタジオ1                                                                                                                                                                                                                   |  | 6,722名  |          |          |
| スタジオ2                                                                                                                                                                                                                   |  | 1,027名  |          |          |
| スタジオ3                                                                                                                                                                                                                   |  | 1,080名  |          |          |
| ギャラリー                                                                                                                                                                                                                   |  | 13,961名 |          |          |
| 多目的ルーム                                                                                                                                                                                                                  |  | 21,560名 |          |          |
| 和室                                                                                                                                                                                                                      |  | 1,633名  |          |          |
| 創作ルーム                                                                                                                                                                                                                   |  | 2,846名  |          |          |
| 合計                                                                                                                                                                                                                      |  | 73,406名 |          |          |

| 課 題 と 今 後 の 方 針                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>ホール以外を活用した事業実施や平日のホール利用の促進が引き続きの課題です。</p> <p>自主事業を計画するにあたり、平日開催が可能な内容の検討や、平日利用しやすいホールの利用料金の検討をしていきます。市民の文化芸術活動及び地域活動の振興を図るため、ホール以外の施設を利用した事業を企画し、継続して利用いただけるよう利用の促進に努めます。また、文化芸術への関心や参加意欲を高めるよう市民参加型の事業を企画するよう検討していきます。</p> |

| 教 育 委 員 会 評 価（教育長・教育委員）                                                                                                   | 達成度 | 3 年 度 | 4 年 度 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|-------|
|                                                                                                                           |     | B     | A     |
| 感染症対策をしながらも様々なイベントを企画されていて、職員の方の熱意を感じます。どのイベントも市民の方からとても好評で、蓮田市の文化発信の拠点として親しまれています。<br>今後も市民の芸術・文化への関心が高まるような企画・運営を期待します。 |     |       |       |

| 政策名                  | 歴史・文化の保全と活用                                                                                |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第5次総合振興計画における政策の位置付け | Ⅲ 学び合い、豊かな心を育むまちをつくる                                                                       |
|                      | 2 地域に根差した文化の継承と活用                                                                          |
|                      | (2) 歴史・文化の保全と活用                                                                            |
| 政策の概要                | 地域における伝統文化の発展的継承と伝統文化を通じた市民への生涯学習活動の活性化を図る。また、文化財の保護と管理を目的に郷土資料の調査・収集を図り、市民の歴史・文化への醸成を進める。 |

| 主 要 事 業 名 |                 | 決 算 額     | 担 当 課 |
|-----------|-----------------|-----------|-------|
| 1         | 文化財啓発事業         | 10,339 千円 | 社会教育課 |
| 2         | 文化財展示施設運営事業     | 9,095 千円  |       |
| 3         | 国指定史跡黒浜貝塚整備推進事業 | 81,401 千円 |       |
| 4         | 埋蔵文化財保存事業       | 11,514 千円 |       |
| 5         | 市指定文化財保存修復事業    | 0 円       |       |

| 令和4年度の取組と成果 | 達成度 | 3年度 | 4年度 |
|-------------|-----|-----|-----|
|             |     | A   | A   |

### 1 文化財啓発事業

市内小学校（黒浜小学校、黒浜南小学校、黒浜北小学校、蓮田南小学校、黒浜西小学校）を対象に「学校歴史講座」を開催しました。市民ボランティア学芸員による案内・解説のもと文化財展示館と黒浜貝塚の見学を行いました。

市内の文化財を広く啓発する事業として、蓮田市文化財情報サイトにて市内の文化財情報を更新しました。



学校歴史講座

### 2 文化財展示施設運営事業

文化財展示館では常設展示のほかに、収蔵資料を活用した企画展示を併せて行っています。前年度の3月から11月まで市制施行50周年を記念し、「知命の蓮田展」を開催。11月からは「教育と蓮田」のリニューアル展示を開催しました。パルシー・ハストピアで開催されたうたやの森フェスティバルでは、蓮田市制40周年の際に子どもたちが作成した土版を展示し、その後文化財展示館でも土版の展示を行っています。

なお、文化財展示館の年間入館者数は、9,930人を数えました。

「市民ボランティア学芸員養成講座」では、中央公民館で開催される市民大学と連携し、新型コロナウイルスの感染対策を講じながら7～2月の計9回開講しました。歴史・文化の啓発とともに、団体見学や学校歴史講座の案内を行う人材の育成を図りました。また、史跡黒浜貝塚の全面供用開始にむけて、団体見学等に対するガイドを充実させるため、ボランティア学芸員に団体見学や学校歴史講座など、見学の解説や補助にご協力いただきました。

### 3 国指定史跡黒浜貝塚整備推進事業 **重点**

黒浜貝塚は、平成18年に国指定記念物（史跡）に指定、平成25年に追加指定されており、縄文時代に人々が生活していた古代の景観を呈しています。ハンノキ群落を代表とする落葉広葉樹

混交林等の豊かな自然環境を生かした、史跡としての本格整備を平成 27 年度から実施しています。

当年度の整備工事として、縄文の小川及び宿浦のムラの一部において、ウッドチップを用いた園路舗装、東北自動車道沿いに案内板と車止めの設置、縄文の浜辺と宿浦のムラに防犯カメラの設置をしました。令和 4 年度をもって整備工事をすべて完了し、令和 5 年度より全面供用を開始しました。

黒浜貝塚整備活用委員会（一般公募委員を含め 9 名で構成）は今年度 2 回開催し、第 8 期整備工事の進捗報告及び令和 5 年度に予定している公有化事業について説明を行いました。



史跡黒浜貝塚航空写真

令和 5 年 3 月には「史跡黒浜貝塚整備工事完了記念講演会」を開催しました。3 月 19 日に日本大学名誉教授遠藤邦彦先生、3 月 25 日に黒浜貝塚整備活用委員会委員長、國學院大學名誉教授小林達雄先生をお招きし、それぞれの分野から黒浜貝塚をめぐる自然環境の変遷、蓮田市に残る縄文時代の歴史と魅力についてご講演いただきました。

平成 27 年度に実施した国指定史跡黒浜貝塚の学術調査については、整理作業を引き続き行い、発掘調査報告書を刊行しました。整備事業についても報告書を刊行しました。

#### 4 埋蔵文化財保存事業

埋蔵文化財保存事業では、市内の様々な開発にあたり、埋蔵文化財包蔵地に該当する地域について、試掘調査を 34 ヶ所実施しました。報告書刊行作業では、文化財調査報告書第 67 集（黒浜耕地遺跡）を刊行しました。

#### 5 市指定文化財保存修復事業

高虫氷川神社の本殿の欄干が一部破損したとの報告があり、破損した欄干の修理を行いました。

### 課 題 と 今 後 の 方 針

国指定史跡黒浜貝塚整備推進事業については、「国指定史跡黒浜貝塚 - 整備基本構想・基本計画策定報告書-」で策定された基本理念と基本方針に基づいて整備を進め、今年度整備工事が完了しました。未公有地 3 筆分については用地測量を行い、令和 5 年度中に不動産鑑定、物件調査に続き、用地の買取りをします。

埋蔵文化財保存事業では、市内の様々な開発にあたり埋蔵文化財包蔵地に該当する地域について、試掘調査・工事立会を実施して保護に努めます。

文化財展示施設運営事業では、黒浜貝塚の発掘調査報告書の成果を基にした展示を企画するなど、史跡の価値を周知するよう努めます。また、その他市内文化財についても、引き続き市民ボランティア学芸員との協働により展示館運営を充実させるとともに、市民大学と連携した講座を開講するなど、様々な場面で周知・啓発に努めてまいります。

今後、黒浜貝塚を含めた市内文化財の保護と活用を図り、未来に向け文化財を継承していくための指針として、「黒浜貝塚保存活用計画」及び「文化財保存活用地域計画」を策定するため、準備を進めていきます。

#### 教 育 委 員 会 評 価（教育長・教育委員）

#### 達成度

3 年度

**A**

4 年度

**A**

文化財展示館の入館者数が増加していることから、市民の方々の歴史・文化への関心の高さが感じられます。史跡黒浜貝塚の整備工事が完了したことで、さらに注目を集める機会になります。今後も、積極的な情報発信をお願いします。

|                      |                                                                  |
|----------------------|------------------------------------------------------------------|
| 政策名                  | スポーツ・レクリエーション活動の促進、スポーツ施設整備の促進                                   |
| 第5次総合振興計画における政策の位置付け | Ⅲ 学び合い、豊かな心を育むまちをつくる                                             |
|                      | 4 スポーツ・レクリエーションの振興                                               |
|                      | (1) スポーツ・レクリエーション活動の促進 (2) スポーツ施設整備の促進                           |
| 政策の概要                | 市民があらゆる機会を通じて、スポーツ・レクリエーション活動に参加できるように、生涯スポーツを目指したスポーツ環境整備を推進する。 |

| 主 要 事 業 名 |                   | 決 算 額    | 担 当 課   |
|-----------|-------------------|----------|---------|
| 1         | スポーツ団体育成・支援事業     | 2,487 千円 | 文化スポーツ課 |
| 2         | スポーツ・レクリエーション普及事業 | 1,480 千円 |         |
| 3         | スポーツ施設整備事業        | 3,963 千円 |         |

| 令 和 4 年 度 の 取 組 と 成 果 | 達成度 | 3 年 度 | 4 年 度 |
|-----------------------|-----|-------|-------|
|                       |     | B     | B     |

### 1 スポーツ団体育成・支援事業

スポーツ協会、スポーツ少年団及びレクリエーション協会の3団体は、本市のスポーツ・レクリエーション事業で中心的な役割を担っており、その活動支援の一環として補助金を交付しました。

毎年、各団体は、はすだスポーツフェスタや蓮田マラソンなどのスポーツ関係行事に協力し、行政と団体が一体となって、スポーツ・レクリエーション活動を推進していますが、令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業が一部中止となりました。

スポーツ少年団においては普通救命講習会や指導者講習会などを実施、レクリエーション協会ではレクリエーション大会を実施しました。

また、全国大会出場者に対する奨励金については、2団体と4名の方に交付しました。

### 2 スポーツ・レクリエーション普及事業

令和4年度についても、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、スポーツフェスタが中止となりましたが、市制施行50周年記念事業としてバレーボールとバスケットボールの観戦事業を開催し、延べ約1,800人来場いただきました。コロナ禍において多くの市民がスポーツに触れる機会を作ることができました。

### 3 スポーツ施設整備事業 **重点**

総合市民体育館パルシーについては、「蓮田市総合市民体育館サブアリーナ建設等検討会議」にて意見を伺いながら令和3年度に策定した、「蓮田市総合市民体育館大規模改修及びサブアリーナ建設基本計画」をもとに、大規模改修及びサブアリーナ増築工事の設計委託を令和4～5年度の2か年で契約しました。令和4年度については基本設計を実施しました。

| 市民体育館利用状況 | 令和4年度   | 令和3年度   | 令和2年度   |
|-----------|---------|---------|---------|
| アリーナ      | 49,231名 | 7,593名  | 19,689名 |
| 武道場       | 17,476名 | 3,686名  | 7,355名  |
| 多目的室兼控室   | 5,695名  | 1,386名  | 4,178名  |
| 第1会議室     | 844名    | 112名    | 212名    |
| 第2会議室     | 1,996名  | 352名    | 1,099名  |
| 施設開放      | 201名    | 78名     | 0名      |
| トレーニングルーム | 13,422名 | 6,761名  | 5,270名  |
| 合計        | 88,865名 | 19,968名 | 37,803名 |

### 課 題 と 今 後 の 方 針

スポーツ団体育成・支援事業については、スポーツ協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会の活動や研修などに引き続き支援を行います。

スポーツ・レクリエーション普及事業では、令和5年度の「はすだスポーツフェスタ」開催に向け準備を進めます。

スポーツ教室や講座については、令和4年度に引き続き、バレーボールとバスケットボールの観戦事業を実施します。

スポーツ施設については、市民が主体的なスポーツ・レクリエーション活動を実施できるよう、引き続き環境の整備に努めます。また、総合市民体育館についても、引き続き大規模改修及びサブアリーナ増築工事の設計を進めます。

### 教 育 委 員 会 評 価（教育長・教育委員）

達成度

3年度

**B**

4年度

**B**

バレーボールとバスケットボールの観戦事業はたくさんの方に来場いただき、スポーツへの関心の高さが感じられました。今後、他のスポーツにも触れる機会が増えることを期待します。感染症対策のため、イベントの中止はやむを得ないことですが、市民がスポーツに触れる機会を確保できるよう努めていただきたいと思います。

また、普通救命講習会や指導者講習会を実施しており、人材育成にも力を入れている様子がうかがえます。スポーツ団体の中には高齢化の問題を抱えている団体もあります。若年層に加入していただくための工夫が、より一層求められてくると感じています。

| 政策名                  | 人 権 意 識 の 高 揚                                |
|----------------------|----------------------------------------------|
| 第5次総合振興計画における政策の位置付け | Ⅲ 学び合い、豊かな心を育むまちをつくる                         |
|                      | 5 人権教育・啓発の推進                                 |
|                      | (1) 人権意識の高揚                                  |
| 政策の概要                | 人権尊重社会を実現するために、あらゆる機会をとらえて人権に関する教育及び啓発を推進する。 |

| 主 要 事 業 名 |             | 決 算 額    | 担 当 課 |
|-----------|-------------|----------|-------|
| 1         | 人権教育・啓発推進事業 | 1,167 千円 | 社会教育課 |

| 令 和 4 年 度 の 取 組 と 成 果                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |  | 達成度   | 3 年度  | 4 年度  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-------|-------|-------|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  |       | B     | A     |
| <b>1 人権教育・啓発推進事業</b> <p>例年、様々な人権問題の解決を目指すことができる明るい地域社会をつくるため、各種研修会等を実施しています。新型コロナウイルス感染症の影響で令和2、3年度は事業の中止がございました。令和4年度につきましては、開催方法を検討することで可能な限り実施しました。</p> <p>また、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」の趣旨に基づく人権教育の取組として、埼葛郡市12市町との連携による協働事業を含め、各種啓発活動を実施しました。</p> <p>このほか、人権啓発活動として、各行事等での人権啓発用品の配布や、市内小学校児童を対象に啓発品を配布するなど、市民の人権意識高揚を図りました。</p> |  |       |       |       |
| 主な人権教育研修の参加状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  | 令和4年度 | 令和3年度 | 令和2年度 |
| 公民館利用者人権研修会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |  | 57 名  |       |       |
| 埼葛地区人権教育推進協議会総会・研修会                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  |       |       |       |
| 蓮田市人権教育推進協議会総会・研修会                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |  | 86 名  |       |       |
| 埼葛郡市教職員合同現地研修会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  | 18 名  | 18 名  | 18 名  |
| 蓮田市教職員人権教育研修会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  | 261 名 | 233 名 |       |
| 埼葛人権を考えるつどい                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |  | 50 名  | 50 名  | 50 名  |
| 埼葛地区人権教育指導者研修会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  | 12 名  |       |       |
| 蓮田市職員人権・同和問題研修会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  | 155 名 | 137 名 | 142 名 |
| 人権問題講演会（R3 はオンライン）                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |  | 47 名  | 50 名  |       |
| 寿大学人権問題研修会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |       |       |       |

| 課 題 と 今 後 の 方 針                                                                                                                                         |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>人権尊重社会実現のために人権意識の定着・向上には、機会を捉えた教育・啓発活動が必要です。</p> <p>引き続き、近隣市町と連携しつつ、「蓮田市人権施策実施計画」に基づく人権施策、及び広報活動・啓発活動を推進することにより、多くの市民が人権について考える機会を持てるよう努めてまいります。</p> |



| 教 育 委 員 会 評 価（教育長・教育委員）                                                                                    | 達成度 | 3 年 度 | 4 年 度 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|-------|
|                                                                                                            |     | B     | A     |
| 市職員や教職員に対する研修会が非常に充実しており、人権問題や人権教育に対して考える機会が確保できていると感じます。今後は、子どもたちの人権意識の高揚につながる機会を増やしながら啓発に努めていただくことを望みます。 |     |       |       |

| 政策名                  | 放射線対策の推進                                              |
|----------------------|-------------------------------------------------------|
| 第5次総合振興計画における政策の位置付け | V 潤いのある快適なまちをつくる                                      |
|                      | 3 安心・安全な生活環境                                          |
|                      | (2) 放射線対策の推進                                          |
| 政策の概要                | 身近な環境等の放射線量の測定など、放射線対策を継続する。また、給食用食材の放射性物質検査を定期的実施する。 |

| 主要事業名 |                 | 決算額    | 担当課   |
|-------|-----------------|--------|-------|
| 1     | 放射線測定事業         | 72 千円  | 学校教育課 |
| 2     | 給食用食材の放射性物質検査事業 | 354 千円 | 教育総務課 |

| 令和4年度の取組と成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  | 達成度 | 3年度 | 4年度 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-----|-----|-----|
| 1 放射線測定事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |     | A   | A   |
| <p>福島県の原子力発電所事故による影響を把握するために、市内小中学校を5つのグループ（中学校区）に分けて、毎日、放射線測定を実施しています。また、定期的にホットスポットと呼ばれる放射線が溜まりやすい場所を追跡調査し、常に子どもたちが健康で、安心して学校生活が送れるように、そして情報を積極的に発信し、共有することで、市民の安心・安全にも寄与することを目的として、平成23年度より実施してきました。計数器による定時・定位置での測定を継続（地上5cmと1mの地点で2回測定、午前10時前後の時点）し、測定結果の報告と共有（計測データは集計後、速やかに市内小中学校で共有し、各学校で掲示する）を実施しました。定時・定位置での測定では大きな数値の変化はありませんでした。また、学校プールでの水泳指導実施校で2回、プール水の放射性物質の検査を行いました。異常は見られませんでした。</p>                  |  |     |     |     |
| 2 給食用食材の放射性物質検査事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |  |     |     |     |
| <p>東日本大震災の原子力発電所事故による放射能汚染のため、食品の放射性物質についての安全性に関しては多くの人が強い不安を感じるようになりました。その後、出荷・流通段階での検査体制の整備により、市場に流通している食品は安全性に十分留意されていると考えます。</p> <p>これまでの検査においても基準値以上の放射性物質は検出されていませんが、さらなる安心・安全な給食提供のために、引き続き定期的な放射性物質検査を実施いたしました。</p> <p>外部委託検査では、高精度なゲルマニウム半導体検出器により、月2回、2検体ずつ検査いたしました。また、自主検査では、市役所内に設置してある、消費者庁からの貸与機器による検査を月2回、2から3検体ずつ実施いたしました。</p> <p>すべての食材について放射性物質は「検出せず」という結果であり、検査結果については市のホームページや広報誌にて随時公表いたしました。</p> |  |     |     |     |

| 課題と今後の方針                                                                                                    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>引き続き、計数器による定時・定位置での測定を継続し、迅速かつ正確な測定結果の公開を行います。</p> <p>学校給食の安心・安全な運営のため、給食用食材に対する放射能検査を継続的に実施してまいります。</p> |

| 教 育 委 員 会 評 価（教育長・教育委員）                                              | 達成度 | 3 年 度 | 4 年 度 |
|----------------------------------------------------------------------|-----|-------|-------|
|                                                                      |     | A     | A     |
| 定期的に給食用食材の放射線測定をしていただいたことで、子どもと保護者の安心感が高められています。今後も引き続き実施されるよう希望します。 |     |       |       |

|                      |                                                 |
|----------------------|-------------------------------------------------|
| 政策名                  | 新型コロナウイルス感染症対策の取組                               |
| 第5次総合振興計画における政策の位置付け |                                                 |
| 政策の概要                | 感染拡大の防止に向けた対策を講じ、市民生活への影響を抑えるとともに、教育の充実との両立を図る。 |

| 主 要 事 業 名 |                  | 決 算 額 | 担 当 課         |
|-----------|------------------|-------|---------------|
| 1         | 小・中学校の休校対応と感染症対策 |       | 学校教育課・教育総務課   |
| 2         | 保育施設の対応          |       | 保育課           |
| 3         | 公共施設の感染症対策       |       | 社会教育課・文化スポーツ課 |
| 4         | 生涯学習事業等の感染症対策    |       |               |

| 令和4年度の取組と成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  | 達成度 | 3年度<br>A | 4年度<br>A |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-----|----------|----------|
| <b>1 小・中学校の休校対応と感染症対策</b> <p>○4月7日に「学校再開後に陽性者等が出現した場合の対応について（第10報）」の文書を市内各小・中学校長宛てに送付しました。</p> <p>○4月26日に「学校再開後に陽性者等が出現した場合の対応について（第11報）」の文書を市内各小・中学校長宛てに送付しました。</p> <p>○5月16日に「学校総合体育大会等、公式大会への参加について」の文書を市内各中学校長宛てに送付しました。</p> <p>○5月19日に「新型コロナウイルス感染症に係るサービスの取扱い等について」の文書を市内各小・中学校長宛てに送付しました。</p> <p>○5月27日に「学校再開後に陽性者等が出現した場合の対応について（第12報）」の文書を市内各小・中学校長宛てに送付しました。</p> <p>○7月4日に「学校再開後に陽性者等が出現した場合の対応について（第13報）」の文書を市内各小・中学校長宛てに送付しました。</p> <p>○9月2日に「感染症対策の徹底について」の文書を市内各小・中学校長宛てに送付しました。</p> <p>○11月24日に「令和4年度蓮田市立小・中学校卒業証書授与式について」の文書を市内各小・中学校長宛てに送付しました。</p> <p>○2月14日に「令和4年度蓮田市立小・中学校卒業証書授与式について」「令和5年度学校行事の開催について」の文書を市内各小・中学校長宛てに送付しました。</p> <p>○3月14日に市内中学校卒業証書授与式の会場確認を行い、市内中学校5校の感染症対策、会場を確認しました。</p> <p>○3月23日に市内小学校卒業証書授与式の会場確認を行い、市内小学校8校の感染症対策、会場を確認しました。</p> <p>ほかに、補助金の交付を受け各小中学校に1名ずつ配置している教員業務支援員は、各校の実情に応じ、消毒、換気及び児童生徒の健康観察取りまとめ等感染症対策の業務に従事しました。</p> <p>また、補助金の交付を受け、令和4年9月から令和5年3月まで、コロナ禍において原油価格・物価高騰等の影響を受けている子育て世帯の経済的負担の軽減、並びに学校給食の給食費の値上げ抑制や食材の質と量の確保を図るため、「蓮田市学校給食費等給付金」並びに「蓮田市学校給食</p> |  |     |          |          |

食材価格高騰対策事業交付金」として、蓮田市立小・中学校の給食費相当額、並びに学校給食食材価格高騰相当額を補助しました。

なお、「蓮田市学校給食費等給付金」については、対象は蓮田市立小学校又は蓮田市立中学校に在籍する児童又は生徒の保護者及び蓮田市に住所を有し特別支援学校の小学部又は中学部に在籍する児童又は生徒の保護者としました。

---

## 2 保育施設の対応

○保育園、子育て支援施設、学童保育所について、職員のマスク着用、手指消毒、保育室の消毒等の感染防止対策を徹底しました。

### 【保育園・子育て支援施設】

○保育園は小・中学校の学級閉鎖基準に準じてクラス閉鎖を実施し、クラス閉鎖期間の保育料と副食費は日割り計算によって還付充当しました。

○子育て支援施設（地域子育て支援拠点施設、児童センター）は時間予約制としました。

○保育園では、手洗い場等の水栓について手指の接触が必要ないレバー式ハンドルに交換する工事を行いました。また、保育室の換気のため、網戸の設置や張替えを行いました。

### 【学童保育所】

○学校の学級閉鎖に合わせて学童保育所への登所自粛要請を行い、登所自粛要請期間中の学童保育料については、日割り計算によって還付充当しました。

---

## 3 公共施設の感染症対策

中央公民館・関山分館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じたうえで各種講座の開催及び、集会施設の貸出を行いました。

図書館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じたうえでイベント等の開催及び、集会施設の貸出を行いました。

文化財展示館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じたうえで、館内の利用やボランティア学芸員養成講座を開催しました。

蓮田市総合市民体育館パルシーでは、7月5日より、全室の利用人数制限を定員の100%に緩和しました。

蓮田市総合文化会館ハストピアでは、7月5日より、全室の利用人数制限を定員の100%に緩和しました。また、

7.8.11.12.1月の一部期間において、新型コロナウイルス感染症予防のためのワクチン接種会場として貸出をし、一般の方の利用を中止としました。

---

## 4 生涯学習事業等の感染症対策

各利用団体には、学校開放（特別教室）において「特別教室開放事業における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に沿って、特別教室の活用をしていただきました。

また、上記以外の事業では、各種ガイドラインに基づき、市政施行50周年記念事業としてハストピアでのコンサートやパルシーでのスポーツ観戦事業等を実施しました。

10月16日にパルシーの多目的広場にて開催予定であった「はすだスポーツフェスタ」は中止となりました。

## 課 題 と 今 後 の 方 針

令和4年度は感染対策に配慮しながらも、可能な限り学習機会の確保に努めました。  
新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行したことを受け、状況等を考慮しながら必要に応じて対策を講じ、教育行政の向上をはかります。

## 教 育 委 員 会 評 価（教育長・教育委員）

達成度

3 年 度

**A**

4 年 度

**A**

イベントや学校活動が再開されていく中で、感染症対策を丁寧に行っていると思います。公共施設の利用制限を緩和できたことも、日ごろの丁寧な対応の結果だと思います。

また、物価高騰への対応として蓮田市学校給食費等給付金を交付したことは、保護者に寄り添った支援となりました。

今後、さらに社会活動が活発になっていく中で、必要な対策を講じながらも蓮田市の教育活動が活性化することを期待します。

## 蓮田市教育行政執行状況に関する点検評価に対する意見

群馬大学共同教育学部 教授 霜田浩信

私は、蓮田市立小・中学校へ巡回相談という形態で学校へ訪問する機会を得ています。その訪問機会を通して知り得た児童生徒の実態、教職員の取組を踏まえて、今回の教育行政執行状況に関する点検評価報告書に対する意見を以下に述べます。

### 1. 地域の関係機関と連携した子育て支援

#### (1) 家庭教育支援事業

核家族やひとり親世帯、働く保護者の増加のなか、保護者の就労や生活スタイル、さらには子どもの年齢や発達に応じて、保護者が安心して子育てができるよう、さまざまな支援に取り組んでくださっていることが評価できます。特に、「学校を休みがちな子をもつ親のつどい」を月に1回開催し、同じ悩み等を抱える保護者が知り合うことができる機会を定期的に設けることは、保護者や家庭を孤立させずに地域や行政とのつながりを持つことになり大いに評価できます。引き続き、保護者のニーズを捉え、学校や保健・福祉関連の担当部署と連携を図りながら事業を進めていただくことを希望します。

### 2. 教育内容の充実

#### (1) 一人ひとりを大切にされた教育の充実推進事業

委嘱研究に基づく教育内容や体制の検討においては、学習指導要領を受けて、各教科の実践研究に留まらず、学習の基盤となる問題発見・解決能力、思考・表現力などの資質・能力を伸ばす指導や社会の変化の中を生き抜くために人間に求められる能力の1つである自己肯定感を高める実践を研究されていることが評価できます。委嘱先の学校におかれては、ぜひとも研究の成果を、さまざまな機会を通じて広く発信をし、各学校における教育の充実、教員の資質向上に役立てていただくことを希望します。学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する実践に具体を積み上げることを期待いたします。

#### (2) 小・中学校人権教育推進事業

人権教育においては、まずは教職員が個々の人権課題（女性、子ども、障がい者、高齢者、同和問題、外国籍の人、性的マイノリティの人等々）に関する正しい知識を得るだけでなく、人間の多様性の尊重といった価値観を身につけたうえで、教職員が児童生徒と関わる際に人権を重んじた振る舞い、教育をしていくことが重要になります。児童生徒においてはその教職員の振る舞いを見ることを通して、そして周囲の人との関わりを通して、人権意識を学んでいくこととなります。今後も文部科学省が示す「人権教育の指導方法等の在り方について」の方針に基づきながら、学校における具体的な取組、支援体制を今後も推し進め、将来の社会を担う児童生徒における人権意識を育て、共生社会の形成に向けた礎を築くことを期待します。

#### (3) 特別支援教育推進事業

蓮田市における就学支援事業では、就学支援委員会委員に各小・中学校の校長、教員、校医、学識経験者、関係課職員がチームとなって、子どもの行動観察からはじまり、保護者との面談を含めて十分な連携を取った丁寧な就学先の協議が行われています。そのひとつの成果として、保護者や本人が安心して就学できていることが挙げられます。また、通常学級に在籍する支援の必要な児童生徒への巡回相談を学識経験者、蓮田市発達支援相談室「すてっぷ」、通級指導教室等の教職員等との連携によって実施しています。さらに、特別支援学級担当学会議を年間複数回にわたって開催し、市内の特別支援学級の担当者の指導力向上が図られています。このように蓮田市における特別支援教育推進事業は大変充実したものと評価できます。一方で、文部科学省による調査、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果(令和4年)では通常学級に通う児童生徒の8.8%に、発達障害の可能性があることが報告されました。2012年の前回調査から2.3ポイント増えています。通級指導教室の充実のみならず、通常学級での授業内における支援の充実を図ることが求められます。さらには、障害種に応じた特別支援学級の学級編制、そして、特別支援学校に通う児童生徒における居住地校での支援学習の推進を含めて、一貫した支援等の仕組み作りを継続的、積極的に進めていただくことを期待いたします。

#### (4) 外国語指導助手招致事業

外国語指導助手(ALT)の有効的な活用にあたっては、学校派遣の充実のみならず、「ALTの指導力向上」と「教員—ALTとのチーム・ティーチングの質の向上」が重要になります。蓮田市においては、定期的にALTミーティングが行われ、市内各校での英語の授業についての情報交換に基づき、ALTの指導力向上やチーム・ティーチング



の質の向上を図られていることが評価できます。また、ALT の活用によって、児童生徒におけるコミュニケーション能力の素地づくりに着実に効果を上げ、小学校児童の英語への興味関心を高め、中学校英語学習への円滑な接続が図られ、英語学習の基本的な知識習得に繋がったことは、ALT 活用の効果として評価できます。引き続き、英語教育の観点、国際理解教育の観点の両側面から ALT の指導力向上の役割を整理、検討していただけることを期待します。

#### (5) 小学校外国語活動推進事業

小学校における外国語教育では、中学年から「聞くこと」「話すこと」を中心とした外国語活動を通じて外国語に慣れ親しみ、外国語学習への動機づけを高めた上で、高学年から「読むこと」「書くこと」を加えて総合的・系統的に扱う教科学習を行うとともに、中学校への接続を図ることが求められています。蓮田市において「書くこと」の活動も取り入れ、中学校における英語教育への円滑な接続を図っていることが評価できます。中学校においては小学校時代に「読むこと」「書くこと」が既習として扱って授業が実践されることになろうかと思います。今後も中学校に進学した生徒が中学校における英語科の学習（特に「リーディング」「ライティング」）にスムーズに移行できるよう、指導内容における連続性、小中の教員間の連携を図っていくことを期待します。

#### (6) 中学生国際親善訪問団事業

国際的視野や国際感覚を持った「人財」の育成、外国の歴史・文化の理解、蓮田市の次代を担うリーダーの育成等を目的とする重要な事業と捉えられます。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で事業の実施が困難な状況ではありますが、交流先の担当者も含めて情報交換を定期的に行い親善訪問実施のノウハウを継続できるようにしていることも評価できます。

#### (7) 学力向上推進事業

生涯学び続けるために必要な資質・能力を子どもたちに身に付けさせるためにも、児童生徒における学力向上のための基盤づくりが求められます。個に応じたきめ細かな指導の充実を図るため、小学校低学年への非常勤講師の配置、30 人学級や少人数指導など、各学校や児童生徒の実態に応じて、学力向上の推進に向けて取組（習熟度別学習、少人数指導、ティーム・ティーチングといった、個々の課題に応じた補充学習のほか、1 人 1 台タブレット PC を活用した課題学習、家庭学習における家庭との連携等）がなされていることが評価されます。それらが要因の一部となって、令和 4 年度の埼玉県学力・学習状況調査における結果は、全学年、全教科において県の平均正答率を上回ったことは評価できます。学力向上にあたっては、知識伝授に留まらず、「主体的・対話的で深い学び」による授業作り・授業改善を推し進めることも重要であり、そのなかで、育成すべき資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」）をバランスよく育むことが実現できるようさらなる検討を期待します。また、各学校の実態に合わせ、学力・学習状況調査の結果も含めて、「学習を支える環境の整備」「児童生徒の発達の段階に即した取組」「効果的な補充学習・家庭学習の実施」「読解力などの言語能力等育成のための取組」等を検討されることも期待します。

#### (8) 市費による非常勤講師等配置事業

市費による非常勤講師等の配置を学校や児童生徒のニーズに応じて配置されたことは、財源確保が難しい昨今の状況、また臨時的任用教員等の確保ができず学校へ配置する教師の数に欠員が生じる「教師不足」が顕著になりつつある状況を考えると大きく評価できることです。非常勤講師等が派遣されることによって、児童生徒、学級、学校が学習や生活においてきめ細かな指導やニーズに応じた指導、生活安全が図られた学級・学校運営につながるものと評価することができます。今後とも財源確保に努めていただき、市費による非常勤講師等の配置事業を進めるとともに、退職教員等をより活用できる体制を整えていくことを望みます。

#### (9) 新学習指導要領への対応

蓮田市において、新学習指導要領を実施するにあたって「教育課程検討委員会」を組織したうえで、キャリア教育推進への対応や教育内容の検討を実施されたことは、児童生徒が未来社会を切り拓（ひら）くための資質・能力を育成することを具体的に検討したこととして評価できます。

中央教育審議会は『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」（令和 3 年 1 月 26 日）を示しました。今後の教育課程の在り方について、「学習指導要領において示された資質・能力の育成を着実に進めることが重要であり、そのためには新たに学校における基盤的なツールとなる ICT も最大限活用しながら、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と、子供たちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的な充実が図られることが求められる」と述べています。今後「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、学習指導要領の着実な実施を具体的に検討くださることを期待いたします。

### 3. 教育環境の充実

#### (1) 小・中学校大規模改修事業

今後の大規模改修を実施するにあたって、児童生徒・教職員にとって安全で快適な学校施設を整備するとともに、学校施設の長寿命化を推進するため、既存の建物のライフサイクルを意識した①既存学校施設再生整備、②安全で快適な教育環境整備、③長寿命化のための予防対策、を踏まえた改修・修繕をされていることを評価します。児童生徒等の学習及び生活の場として、教職員の働く場として、日照、採光、通風等に配慮した良好な環境を確保するとともに、教育内容や教育方法への対応、障がいのある児童生徒への配慮を考慮した整備が求められます。さらには十分な防災性、防犯性、災害時における避難所など安全性を備えた安心感のある施設環境を計画的に形成することを期待いたします。

#### (2) 小・中学校校庭整備事業

小中学校の校庭の一部を芝生化する取組は、児童生徒における緑の維持管理への意識へともつながるものと評価できます。児童生徒の手による芝生手入れ等の取組を期待します。

#### (3) GIGAスクール構想

GIGA スクール構想のなかでは、これまでの我が国の教育実践と最先端 ICT の利活用によるベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出すことが求められています。そのためにも、蓮田市が目指す1人1台端末環境の利活用によるアクティブ・ラーニングの充実が求められます。蓮田市が実施した Microsoft Teams を使ったオンライン会議（代表の児童・生徒）や授業参観や発表会等のライブ配信は、授業場面のみならず、学校教育全体を通じた ICT の活用として多いに評価できます。今後も、授業における一斉学習場面、個別学習場面、協働学習場面と場面ごとにおけるこれまでの教育実践の蓄積、学校教育全体で ICT の利活用がどのように展開可能か検討いただくことを期待いたします。

#### (4) 就学援助費の支給事業

保護者に対する就学援助制度の十分な周知を行うためには、就学時健康診断時や学校の入学前における説明会などで周知することが求められます。国や県、近隣市町の最新動向を把握するとともに保護者に対する周知方法等を確立しながら、事業を進めていくことが望まれます。

### 4. 学校の教育力の向上

#### (1) 開かれた学校づくり事業

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年の活動等を中止せざるを得ない状況ではありますが、実施形態等を工夫して実施、公開をし、学校の教育活動への理解を深める機会を検討いただいたことを評価します。また、必要な感染対策を取り、学校応援団を組織し、実施可能な活動を通して、児童生徒の登下校の安全指導をはじめ、環境整備、学習支援等に協力いただける体制を整えていただいたと評価できます。

#### (2) 教職員の資質向上事業

蓮田市においては、「経験に応じた研修」として、初任者研修のみならず若手教員研修会として4年次の教員に対する授業研究による研修会を実施し、さらには臨時的任用教員研修を定期的に行っているところであり、大いに評価できることです。教員構成全体に占める初任者、若手教員の数は増加の一途であり、また校内におけるミドルリーダーの養成も求められるところであるため、今後もより一層の研修内容及び体制の充実・工夫が求められます。研修会がより主体的・協働的な学びの要素を含んだアクティブ・ラーニング型研修へ転換してきていることが評価できます。研修体制の整備に留まらず、教育内容の充実を目指して、退職教職員の再任用等をはじめ、学校支援に関わる関係者を広く結集した取組によって、学校の総合力の向上につながる事業の計画を継続的に実施されることを希望します。また教員の免許状更新講習が廃止されたなかでの研修のあり方を、国や県の動向を踏まえつつ蓮田市における研修を検討することも期待します。

#### (3) コミュニティ・スクール事業

新学習指導要領が目指すところでもある「社会に開かれた教育課程」の実現に向けては、未来の子ども達を含めた学校、地域について、保護者や地域住民との情報や課題を共有し、共通の目標やビジョンを設定し、その上での日々の教育活動を展開することが求められます。平野小学校と平野中学校をモデル校に指定し、令和4年度に協議会を開催できたことは、まさに地域、社会に開かれた学校、教育課程を目指すものと評価できます。両校の校長先生が中心となりながら、地域でどのような子どもたちを育て、どのような地域をつくるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域住民等と共有してコミュニティ・スクール事業が展開されることを期待します。

## 5. 交通安全対策の充実

### (1) 通学路の安全確保事業

通学路の安全確保においては、学校のみならず地域からの協力、連携は欠くことができません。そのためには、多くの方々に登下校を含めた児童生徒の生活に意識が向けられることが必要です。蓮田市では子どもの声による防災行政放送が実施されており、地域の方々が児童生徒の生活に意識を向けられるきっかけになっていると評価できます。また地域で起きた出来事を保護者に把握していただくためのメール配信システムが実施されていることも評価できます。今後も児童生徒、教職員、保護者、地域住民の防犯意識、災害等に対する安全意識の向上が図られ、スクールガード・リーダーと教職員、保護者等が一体となって体制が整備されていく事業展開を期待します。

## 6. 生涯学習体制の充実・学習環境の充実

### (1) 生涯学習推進事業

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、必要な感染対策を取り感染拡大のリスクを最小限にしつつ、成人式が実施できたことは喜ばしい限りです。生涯学習社会の構築が必要な理由としては、①社会の変化に応じた新しい知識・技能の習得が求められている点、②心の豊かさや生きがいのための学習需要が増え、ひいては地域社会の活性化・高齢者の社会参加・青少年の健全育成などにつながる点、③学歴だけでなく様々な「学習の成果」が適切に評価される社会を築いていく点が指摘されています。新型コロナウイルス感染拡大により例年の事業が実施できない状況もありますが、開催形式の工夫や代替手段の検討をし、市民の学習ニーズに応じた実施を検討されていることを評価します。また、生涯学習に関する各種情報の発信を行い、市民の学習活動の支援と生涯学習活動を行う団体の活性化に努められていることが評価されます。

### (2) 図書館システムの最適化及び学校図書館資源共有化推進事業

図書館のすべての図書やCDにおけるIC管理タグによって、自動貸出機、自動返却機及び出入口ゲートの設置が可能になったこと、蔵書点検が短期間で集中して実施できたこと、貸出期間が長く設定されたこと、蔵書検索機の増設によって利便性の高いシステムになったことなど図書館システムの最適化がされてきていると評価できます。小学校団体貸出巡回サービス事業として、巡回貸出の実施は、児童における図書に触れる機会を増やすのみならず、図書館利用のきっかけにもつながると考えられます。利用する児童が自分のペースで読めるよう貸出期間を長く設定されたことをも評価できます。図書館事業は生涯学習推進事業と連動した取組が期待されるため、今後も利用者及び市民のニーズや社会的要請を踏まえたうえで、図書館システムのインターネット等の活用を含めて利便性の向上、図書館利用の推進等、地域の実情に即した運営の検討を期待いたします。

### (3) 図書館機能・サービスの充実

新たに展示のコーナーの設置、書架の表示や展示、電話機の主装置の入れ替え等によって、常に利用者が利用しやすいサービスを提供できるよう取り組んでくださっていることが評価できます。引き続きの機能・サービス向上の検討を期待します。

## 7. 芸術・文化活動の振興

新型コロナウイルス感染の影響を受けつつもハストビア利用者数がコロナ禍前に戻ってきたことは、自主事業の企画・運営の成果として評価できます。市民の芸術・文化活動の拠点となり得ていることを嬉しく思います。今後も市民の文化芸術活動及び地域活動の振興を図るため、市民とともに作り上げていく文化拠点としてのより一層の展開を期待します。

## 8. 歴史・文化の保全と活用

文化財啓発事業、文化財展示施設運営事業、国指定史跡黒浜貝塚整備推進事業、埋蔵文化財保存事業、市指定文化財保存修復事業等、いずれの事業においても、コロナ禍ではありますが積極的に事業展開がされており、関係の方におけるご尽力に敬意を表します。特に市制施行50周年を記念した「知命の蓮田展」、「教育と蓮田」のリニューアル展示は、より幅広い市民が集う機会になり得たと思われます。今後も引き続きさまざまな事業を計画的に実施し、展示館運営の充実、国指定史跡黒浜貝塚整備推進事業の展開、市民への啓発活動等の充実を期待します。

## 9. スポーツ・レクリエーション活動の促進、スポーツ施設整備の促進

令和4年度においても新型コロナウイルス感染拡大防止により、スポーツ団体育成・支援事業、スポーツ・レクリエーション普及事業の一部が中止となるなか、市制施行50周年記念事業としてバレーボールとバスケットボールの

観戦事業を開催し、多くの市民の方に来場いただけたことは、コロナ禍においても多くの市民がスポーツに触れる機会となったと評価できます。「蓮田市総合市民体育館大規模改修及びサブアリーナ建設基本計画」をもとに、大規模改修及びサブアリーナ増築工事を計画的に実施されていることも評価できます。

#### 10. 人権意識の高揚

新型コロナウイルス感染拡大防止により、人権教育・啓発推進事業においても多くの計画が中止を余儀なくされた状況かと存じます。そのような中、開催方法を検討され可能な限り各種研修会を実施されたことは評価されます。ICT機器の活用等含めて、より広い年代層の市民に研修会や講演会に参加してもらうための継続的な検討を期待します。

#### 11. 放射線対策の推進

東日本大震災以来、市民が学校給食の食材に関して安心できるようにと継続的に放射性物質の検査を実施し、かつ検査結果を市民に公表していることが評価できます。今後の継続的な検査の実施を望みます。学校給食は個人が選択できない食事であるため、食品の購入におけるリスク管理を継続されることを希望します。

#### 12. 新型コロナウイルス感染症対策の取組

感染状況や社会情勢に応じた対応をいち早く決定し、周知しながら教育活動、学びの保障をされてきている教育委員会、ならびに学校現場の教職員のみなさまに感謝の念が絶えません。また、原油価格・物価高騰等の影響を受けている子育て世帯の経済的負担の軽減、並びに学校給食の給食費の値上げ抑制や食材の質と量の確保を図られたことも大いに評価できます。保育園、子育て支援施設、学童保育所における小中学校の学級閉鎖に伴う保育料や副食費の対応もご苦労が多かったと思われますが、評価されます。引き続き、子どもや市民における学び等を保障し得る環境、体制を検討いただくようお願い申し上げます。

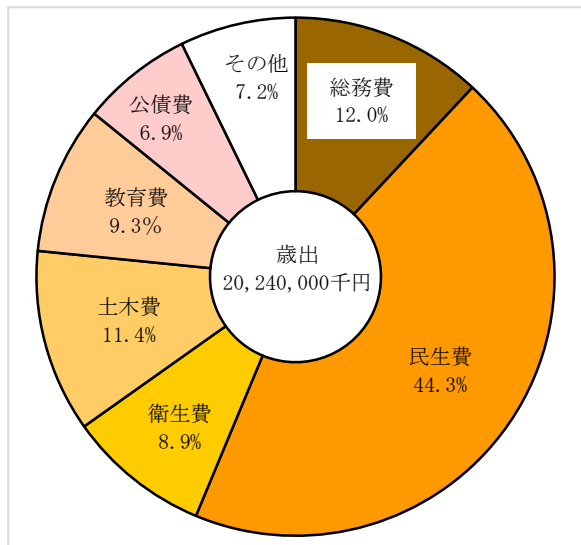


## 資 料

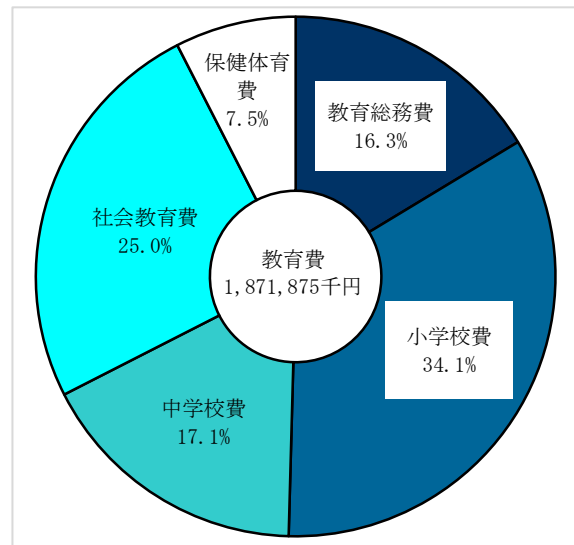
|   |                    |       |    |
|---|--------------------|-------|----|
| 1 | 令和4年度当初教育費予算       | ..... | 40 |
| 2 | 令和5年度当初教育費予算       | ..... | 41 |
| 3 | 令和4年度教育費決算         | ..... | 42 |
| 4 | 進路状況               | ..... | 43 |
| 5 | 学校一覧表(児童・生徒数及び学級数) | ..... | 44 |
| 6 | 児童・生徒数の推移          | ..... | 45 |
| 7 | 教育施設等の概要           | ..... | 46 |

## 1 令和4年度当初教育予算

一般会計予算



教育費



一般会計予算

(単位: 千円)

|     | 予算額        |
|-----|------------|
| 総務費 | 2,423,185  |
| 民生費 | 8,967,733  |
| 衛生費 | 1,803,607  |
| 土木費 | 2,307,313  |
| 教育費 | 1,871,875  |
| 公債費 | 1,403,560  |
| その他 | 1,462,727  |
| 合計  | 20,240,000 |

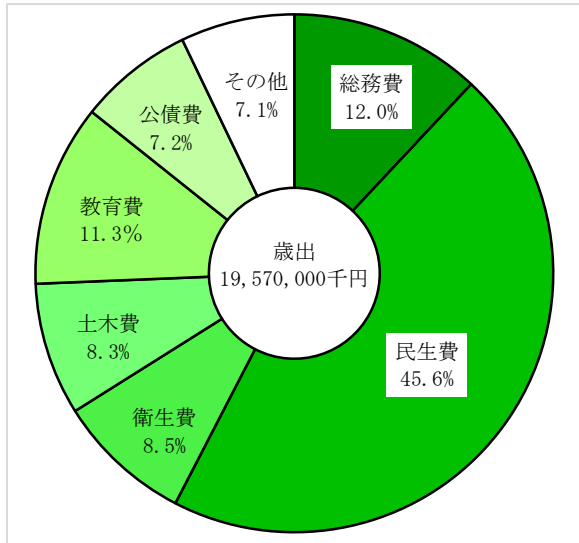
教育予算

(単位: 千円)

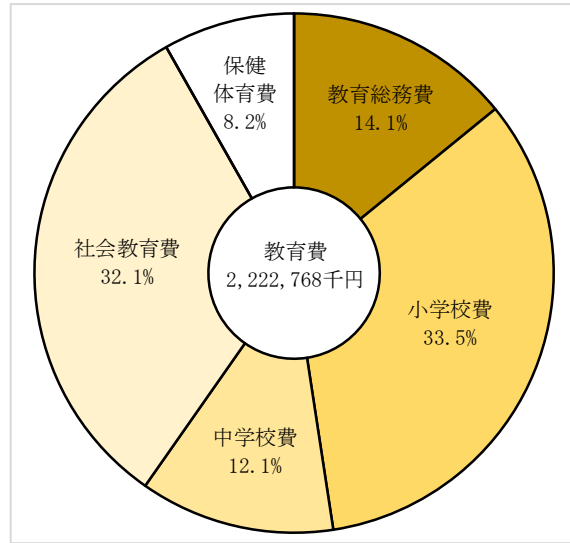
|       | 予算額       | 備考               |
|-------|-----------|------------------|
| 教育総務費 | 305,925   |                  |
| 小学校費  | 638,042   | 児童1人当たり<br>241千円 |
| 中学校費  | 319,439   | 生徒1人当たり<br>214千円 |
| 社会教育費 | 467,597   |                  |
| 保健体育費 | 140,872   |                  |
| 合計    | 1,871,875 | 市民1人当たり<br>30千円  |

## 2 令和5年度当初教育予算

一般会計予算



教育費



一般会計予算

(単位: 千円)

|     | 予算額        |
|-----|------------|
| 総務費 | 2,342,697  |
| 民生費 | 8,929,385  |
| 衛生費 | 1,658,079  |
| 土木費 | 1,620,729  |
| 教育費 | 2,222,768  |
| 公債費 | 1,403,547  |
| その他 | 1,392,795  |
| 合計  | 19,570,000 |

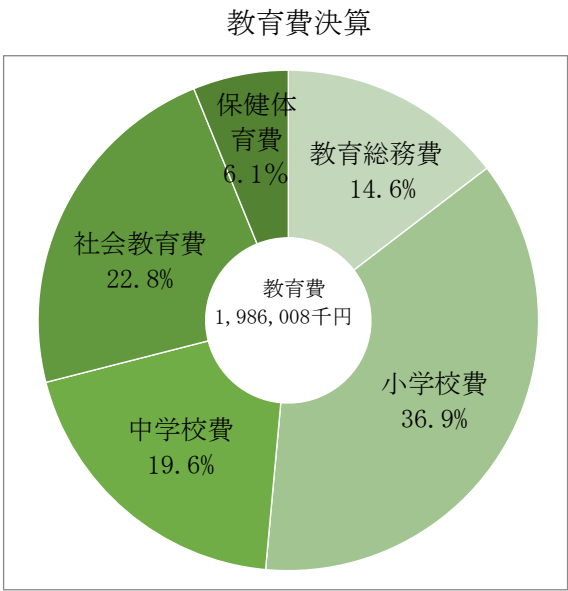
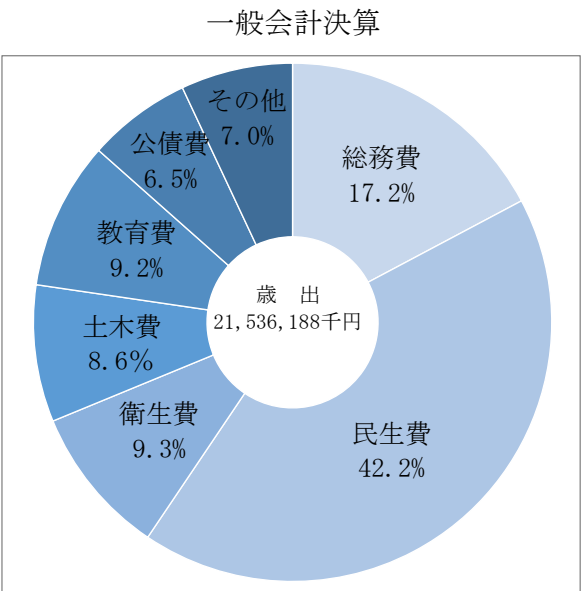
教育予算

(単位: 千円)

|       | 予算額       | 備考               |
|-------|-----------|------------------|
| 教育総務費 | 313,901   |                  |
| 小学校費  | 744,419   | 児童1人当たり<br>282千円 |
| 中学校費  | 269,890   | 生徒1人当たり<br>190千円 |
| 社会教育費 | 712,250   |                  |
| 保健体育費 | 182,308   |                  |
| 合計    | 2,222,768 | 市民1人当たり<br>36千円  |



3 令和4年度教育費決算



一般会計決算 (単位：千円)

|       | 決算額        |
|-------|------------|
| 総 務 費 | 3,711,964  |
| 民 生 費 | 9,088,626  |
| 衛 生 費 | 2,012,064  |
| 土 木 費 | 1,839,865  |
| 教 育 費 | 1,986,008  |
| 公 債 費 | 1,393,411  |
| そ の 他 | 1,504,250  |
| 合 計   | 21,536,188 |

教育費決算 (単位：千円)

|         | 決算額       | 備 考              |
|---------|-----------|------------------|
| 教育総務費   | 289,807   |                  |
| 小 学 校 費 | 731,970   | 児童1人当たり<br>277千円 |
| 中 学 校 費 | 388,641   | 生徒1人当たり<br>260千円 |
| 社会教育費   | 453,231   |                  |
| 保健体育費   | 122,359   |                  |
| 合 計     | 1,986,008 | 市民1人当たり<br>32千円  |

#### 4 進路状況（令和4年度中学校卒業生）

##### ○進路内訳

| 性 別<br>区 分 |             | 男        | 女        | 合 計      | 割 合      |
|------------|-------------|----------|----------|----------|----------|
| 卒 業 者 総 数  |             | 人<br>248 | 人<br>266 | 人<br>514 | %<br>100 |
| 内<br>訳     | 就 職 者 数     | 0        | 0        | 0        | 0.00     |
|            | 進 学 者 数     | 247      | 264      | 511      | 99.42    |
|            | 家 事 従 事 者 等 | 1        | 2        | 3        | 0.58     |
|            | 各 種 学 校 等   | 0        | 0        | 0        | 0.00     |

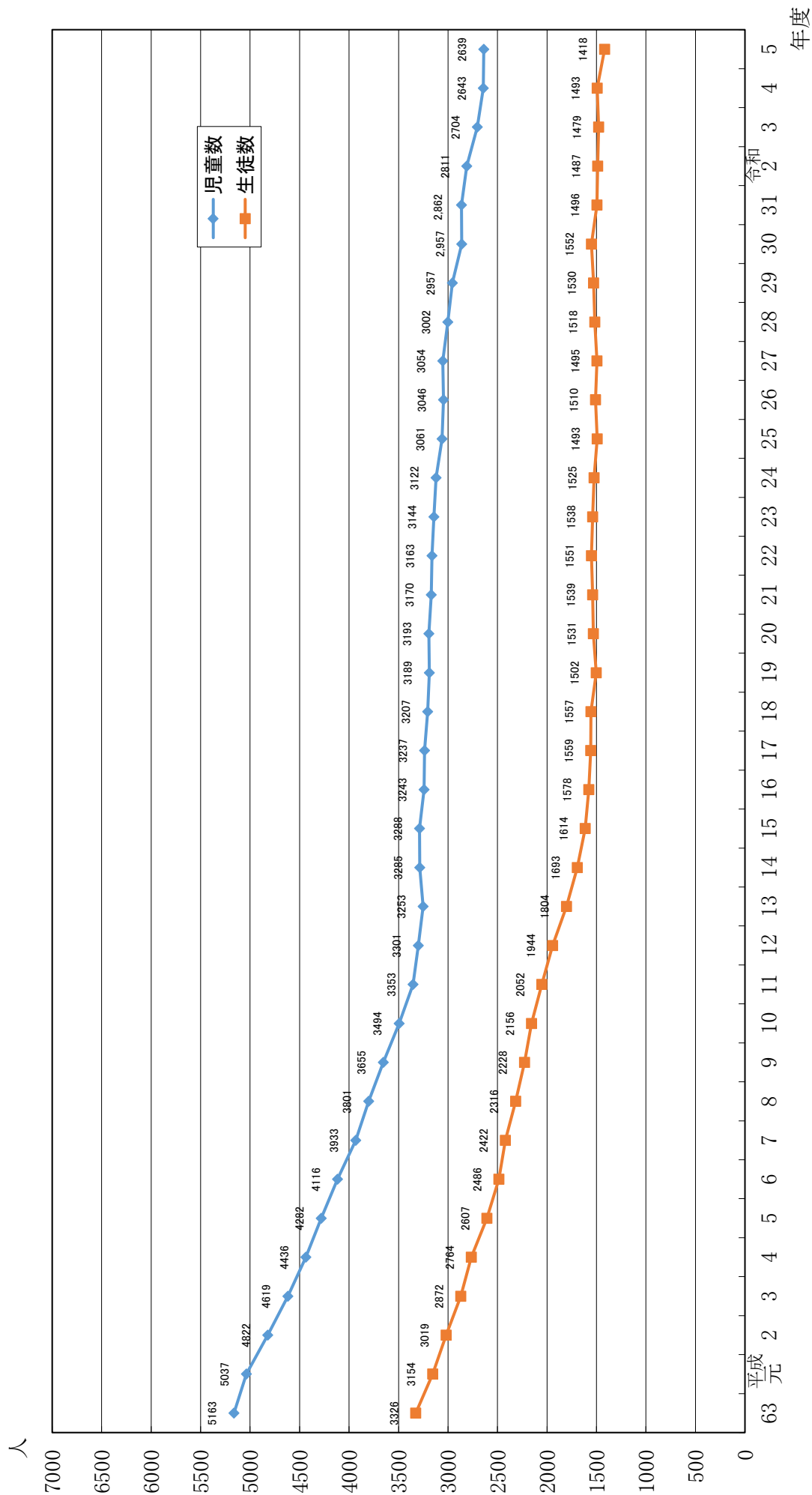
##### ○進学先内訳

| 性 別<br>区 分 |             | 男        | 女        | 合 計      | 割 合      |
|------------|-------------|----------|----------|----------|----------|
| 進 学 者 総 数  |             | 人<br>247 | 人<br>264 | 人<br>511 | %<br>100 |
| 内<br>訳     | 県 内 国 公 立 校 | 149      | 180      | 329      | 64.38    |
|            | 県 内 私 立 校   | 75       | 54       | 129      | 25.25    |
|            | 県 外 国 公 立 校 | 5        | 1        | 6        | 1.17     |
|            | 県 外 私 立 校   | 18       | 29       | 47       | 9.20     |

5 学校一覧表（児童・生徒数及び学級数／令和5.5.1現在）

| 学 校 名 | 所 在 地   | 校 長 名 | 教 頭 名 | 1年     |     | 2年     |     | 3年     |     | 4年     |     | 5年     |     | 6年     |     | 特別支援   |     | 合 計    |     |
|-------|---------|-------|-------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|
|       |         |       |       | 児童・生徒数 | 学級数 | 児童・生徒数 | 学級数 | 児童・生徒数 | 学級数 | 児童・生徒数 | 学級数 | 児童・生徒数 | 学級数 | 児童・生徒数 | 学級数 | 児童・生徒数 | 学級数 | 児童・生徒数 | 学級数 |
| 蓮田南小  | 東6-9-11 | 松本直大  | 五十嵐正  | 124    | 4   | 96     | 3   | 101    | 3   | 109    | 4   | 115    | 3   | 105    | 3   | 14     | 4   | 664    | 24  |
| 蓮田北小  | 閏戸3236  | 杉澤肇   | 川鍋太希  | 37     | 2   | 42     | 2   | 33     | 1   | 21     | 1   | 29     | 1   | 26     | 1   | 7      | 2   | 195    | 10  |
| 平野小   | 井沼937   | 佐藤智恵  | 古島隆宏  | 21     | 1   | 24     | 1   | 21     | 1   | 32     | 1   | 35     | 1   | 28     | 1   | 2      | 1   | 163    | 7   |
| 黒浜小   | 黒浜3069  | 飯野正章  | 石井祐二  | 43     | 2   | 53     | 2   | 47     | 2   | 56     | 2   | 56     | 2   | 46     | 2   | 7      | 2   | 308    | 14  |
| 蓮田中央小 | 関山3-6-1 | 丸山典雄  | 蓮見宣宏  | 85     | 3   | 92     | 3   | 87     | 3   | 85     | 3   | 104    | 3   | 92     | 3   | 9      | 2   | 554    | 20  |
| 黒浜西小  | 西新宿3-84 | 増田貴光  | 小嶋隆夫  | 35     | 1   | 38     | 2   | 33     | 1   | 54     | 2   | 40     | 2   | 49     | 2   | 6      | 2   | 255    | 12  |
| 黒浜南小  | 黒浜722   | 中田泰広  | 三村綾子  | 51     | 2   | 39     | 2   | 40     | 2   | 44     | 2   | 61     | 2   | 36     | 1   | 6      | 2   | 277    | 13  |
| 黒浜北小  | 南新宿800  | 高月章浩  | 熊野真之  | 28     | 1   | 31     | 1   | 44     | 2   | 41     | 2   | 34     | 1   | 42     | 2   | 3      | 1   | 223    | 10  |
| 計     |         |       |       | 424    | 16  | 415    | 16  | 406    | 15  | 442    | 17  | 474    | 15  | 424    | 15  | 54     | 16  | 2,639  | 110 |
| 蓮田中   | 閏戸147-1 | 青野保   | 荒井康   | 120    | 4   | 129    | 4   | 132    | 4   |        |     |        |     |        |     |        |     |        |     |
| 平野中   | 井沼932   | 吉里達哉  | 小久保喜弘 | 30     | 1   | 26     | 1   | 22     | 1   |        |     |        |     |        |     |        |     |        |     |
| 黒浜中   | 黒浜4748  | 安藤義仁  | 武井理   | 97     | 3   | 119    | 3   | 121    | 4   |        |     |        |     |        |     |        |     |        |     |
| 蓮田南中  | 蓮田1519  | 的場敏幸  | 中尾信太郎 | 101    | 3   | 91     | 3   | 121    | 4   |        |     |        |     |        |     |        |     |        |     |
| 黒浜西中  | 黒浜3862  | 檜田光東  | 矢野天洋  | 82     | 3   | 91     | 3   | 98     | 3   |        |     |        |     |        |     |        |     |        |     |
| 計     |         |       |       | 430    | 14  | 456    | 14  | 494    | 16  |        |     |        |     |        |     |        |     |        |     |
| 合 計   |         |       |       |        |     |        |     |        |     |        |     |        |     |        |     |        |     | 92     | 26  |
|       |         |       |       |        |     |        |     |        |     |        |     |        |     |        |     |        |     | 4,057  | 164 |

# 6 児童・生徒数の推移（各年度5 / 1 現在）



7 教育施設等の概要（令和5.5.1現在）

| 校 名     | 校地面積                  | 運動場面積                | 校 舎 面 積              |                   |                  |                      | 保有教室 |    | 体 育 館              | プ ー ル        | 給 食 室              |
|---------|-----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|------------------|----------------------|------|----|--------------------|--------------|--------------------|
|         |                       |                      | 鉄 筋                  | 鉄 筋<br>その他        | 木 造              | 計                    | 普通   | 特別 |                    |              |                    |
| 蓮 田 南 小 | 15,269 m <sup>2</sup> | 5,330 m <sup>2</sup> | 4,871 m <sup>2</sup> | 73 m <sup>2</sup> | 0 m <sup>2</sup> | 4,944 m <sup>2</sup> | 24   | 16 | 978 m <sup>2</sup> | 25 m ・ 5 コース | 207 m <sup>2</sup> |
| 蓮 田 北 小 | 16,515                | 6,286                | 3,820                | 98                | 5                | 3,923                | 10   | 16 | 727                | 25 m ・ 6 コース | 236                |
| 平 野 小   | 12,924                | 4,720                | 3,725                | 181               | 19               | 3,925                | 7    | 15 | 677                | 25 m ・ 6 コース | 205                |
| 黒 浜 小   | 18,960                | 6,170                | 4,206                | 84                | 26               | 4,316                | 14   | 12 | 779                | 25 m ・ 6 コース | 182                |
| 蓮 田 中央小 | 20,000                | 10,016               | 4,158                | 38                | 0                | 4,196                | 20   | 11 | 726                | 25 m ・ 6 コース | 300                |
| 黒 浜 西 小 | 20,564                | 10,426               | 4,491                | 89                | 0                | 4,580                | 12   | 17 | 737                | 25 m ・ 6 コース | 271                |
| 黒 浜 南 小 | 20,564                | 9,760                | 4,496                | 163               | 0                | 4,659                | 13   | 14 | 789                | 25 m ・ 6 コース | 283                |
| 黒 浜 北 小 | 20,437                | 7,744                | 4,117                | 97                | 0                | 4,217                | 10   | 17 | 785                | 25 m ・ 5 コース | 258                |
|         |                       |                      |                      |                   |                  |                      |      |    |                    | 12 m ・ 3 コース |                    |
| 蓮 田 中   | 25,738                | 13,395               | 4,420                | 528               | 0                | 4,948                | 14   | 17 | 1101               | 25 m ・ 6 コース | 355                |
| 平 野 中   | 21,017                | 8,660                | 2,744                | 90                | 15               | 2,849                | 5    | 14 | 881                | 25 m ・ 6 コース | 251                |
| 黒 浜 中   | 23,333                | 14,263               | 4,841                | 55                | 0                | 4,896                | 12   | 22 | 889                | 25 m ・ 6 コース | 357                |
| 蓮 田 南 中 | 25,320                | 13,444               | 5,320                | 72                | 0                | 5,392                | 12   | 22 | 946                | 25 m ・ 6 コース | 339                |
| 黒 浜 西 中 | 27,594                | 13,900               | 4,434                | 9                 | 41               | 4,484                | 11   | 20 | 1,008              | 25 m ・ 6 コース | 368                |

＊校地面積欄は借地を含む。校舎面積欄の鉄筋その他・木造は鉄筋換算面積。

